

神奈川近代文学館年表

1979～2013

財団法人神奈川文学振興会
1982～2011

公益財団法人神奈川文学振興会
2011～2013

年表に関する注記

この年表は、県立神奈川近代文学館及び財団法人（現・公益財団法人）神奈川文学振興会の発足から開館 30 年に至るまでの双方の歩みを一つに纏めたものである。その製作にあたっては、館や財団の成立過程を明らかにし、将来へ正しく伝えるため、以下の資料につき事実関係を検証した上で加筆訂正を行い、ほぼ全文を採用した。

1. 『神奈川近代文学館 10 年史』（1994 年 10 月刊）に掲載の「神奈川近代文学館略年表」
2. 「神奈川近代文学館年報」1994 年度～2013 年度に掲載の「年度記事」
3. 機関紙「神奈川近代文学館」の一部記事

凡 例

1. 年表内の敬称については、その時点での役員等任期に合わせ、概ね役職名を補った。
2. 年表内で特に開催場所の注記がない場合、展覧会は全て文学館展示室での開催。講演会等の催事に関しては展示館 2 階ホールで実施されたものである。
3. 資料の一括受贈等については、〈山括弧〉で囲み、○資料、○文庫と記した。受贈時の規模、状況により○資料としたものが、のち文庫となった場合はその旨を補った。

1979年（昭和54）	
8/13	鎌倉文学史話会の清水基吉、森豊、門馬義久、山村亀二郎の各氏が若林照鎌倉市会議員の紹介で長洲一二神奈川県知事に面会、近代文学館建設を要望。
9/10	知事の指示により高橋亜細亜県民部次長、高橋雅雄文化室長が日本近代文学館（以下、日近文）に清水節男総務部長を訪ね、県立文学館実現の可能性を打診。
9/14	知事が日近文・清水を非公式に招き、日近文との提携の橋渡しを依頼。久保孝雄理事、高瀬孝夫県民部長、高橋同次長、高橋文化室長、蔵隆司秘書も同席。
10/3	日近文・小田切進理事長が県庁で知事と初会談。知事は日近文の全面的な協力を要請。久保理事、高瀬県民部長、小坂昭三社会教育部長、日近文・清水が同席。
10/5	知事が日近文に小田切理事長を訪問、改めて文学館建設に対する協力を要請。同館および隣接の東京都近代文学博物館を視察。
10/13	日近文の理事会で、知事の要請を審議、後世に遺る立派な文学館を建設し、将来長洲知事が退任した後も運営に支障をきたさないよう制度的な配慮をすることを条件に積極的協力を決議。
11/5	日本芸芸家協会理事会で、小田切理事長が日近文の神奈川県への協力の経緯を報告し支持を得る。
11/19	第1回建設準備懇談会（通称五人委員会）を関内・文の家で開く。尾崎一雄、中村光夫、小田切進、知事の4委員（井上靖委員は欠席）と高瀬県民部長、高橋同次長、高橋文化室長、蔵秘書、日近文・清水が出席。

1980年（昭和55）

1/10	小田切理事長の勧めで、文学館建設のため県へ移籍する集英社・古山登副編集長を日近文・清水が県庁へ案内、知事に紹介。
1/17	高瀬県民部長と高橋文化室長、県東京事務所で日近文の小田切、清水と建設スケジュールの打合わせ。
1/30	高橋文化室長、蔵秘書、日近文・清水が横浜市西区紅葉ヶ丘の建設候補地（県有地）を下見。
3/27	文学館建設調査費予算（800万円）が県議会を通過。
5/28	小田切理事長と知事が県庁で会談、文学館の組織の問題と児童文学資料の扱いについて協議。久保理事、高瀬県民部長、日近文・清水も同席。
6/7	日近文・清水、知事を訪ね懇談。文学館の組織は別法人が望ましいとする小田切理事長の意向を伝える。
7/14	第2回建設準備懇談会を横浜東急ホテルで開く。尾崎、井上、中村、小田切、知事の全委員と高瀬県民部長、高橋同次長、高橋文化室長、集英社・古山登、日近文・清水が出席。
8/1	高瀬県民部長と高橋文化室長、日近文・小田切理事長を自宅に訪ね、同日付けで県専門員を委嘱。
9/1	集英社を退職した古山登、文学館建設担当として県民部参事に就任。
9/8	日近文・小田切と清水、高瀬県民部長の案内で建設候補地2ヵ所（横浜・鎌倉）を視察。
10/20	建設地を横浜市中区山手町の港の見える丘公園内に決定し、知事が記者発表。
10/25	第1回文学館建設推進文芸講演会（講師・尾崎一雄、井上靖、中村光夫、小田切進の各氏 於・神奈川県民ホール大ホール）。

1981年（昭和56）

1/31	第1回建設推進懇話会（県内の文芸団体代表、作家、研究者、報道関係者59名が出席）を岩崎博物館で開く。建設の経過を報告し要望を聞く。座長は村松喬氏。
2/26	小田切理事長と清水が知事、県民部長を訪ね、滑川道夫氏蔵書の受入れについて協議。
3/26	文学館建設準備費（800万円）および設計調査費

92　文学館年表

	（2,000万円）の予算、県議会を通過。
3/31	日近文に委託した「神奈川ゆかりの文学者」第一次調査終わる。
4/13	第3回建設準備懇談会を横浜東急ホテルで開催。尾崎、井上、中村、小田切、知事の委員と高瀬県民部長、高橋同次長、高橋文化室長、古山参事、日近文・清水が出席。
4/17	知事、小田切理事長、古山参事、日近文・清水が滑川道夫氏宅を訪問、児童文学関係資料の収集について協力を要請。日近文・福田清人常務理事が立ち会う。
4/21	建築委員会を開催。県内類似施設および日近文の関係者から設計の与件について意見を聞く。
6/1	設計を浦辺建築事務所（代表・浦辺鎮太郎氏）に依頼することを決定。
8/27	小田切理事長と清水が知事を訪ね、館を運営する財団法人の組織、基本金について協議。
10/14	第4回建設準備懇談会をホテルニューグランドで開催。尾崎、中村、小田切、知事の四委員と、大竹達雄県民部長、渋谷正巳同次長、高橋文化室長、古山参事、日近文・清水ら出席。設立する財団法人の組織およびトップ人事について協議、設計案も検討。
10/15	基本・実施設計費予算が県議会で議決。
10/24	第2回文学館建設推進文芸講演会（講師・水上勉氏 於・秦野市文化会館、11/14第3回 講師・曾野綾子氏 於・足柄上郡大井町立湘光中学校、11/21第4回講師・城山三郎氏 於・三浦市南下浦市民センター）。
11/16	小田切理事長と清水が県庁に久保理事、大竹県民部長、渋谷同次長を訪ね設計案を詳細に検討し修正を協議。
11/21	〈夏目漱石資料〉受贈。以後継続して受贈。
11/25	財団設立準備会議。日近文・小田切、清水、県・渋谷県民部次長、高橋文化室長、古山参事らが財団の寄付行為、役員、事業計画、予算等打合わせ。同様の準備会議を12月5日、19日にも開く。

1982年（昭和57）

1/25	財団法人神奈川文学振興会発起人会をシルクホテルで開催。発起人の井上靖、尾崎一雄、小田切進、中村光夫、長洲知事の5氏出席。設立趣意書、寄付行為、役員、事業計画及び予算を議決。小田切氏を理事長に、井上、尾崎、中村の3氏を常務理事に、阿川弘之氏ら27名を理事に選出。
2/16	県議会文化懇話会の議員有志ら21名、日近文を視察。
3/26	文学館建築工事費23億円（57年度10億円、58年度13億円）、財団への出資金（5千万円）、財団への事業委託費・補助金等の予算が県議会で議決された。
3/27	第2回建設推進懇話会を県政総合センターで開く。県内の文学関係者、図書館・博物館など類似施設関係者36名が出席、建設の経過報告と意見交換。
4/1	財団法人神奈川文学振興会が設立許可される。役員、顧問就任。事務局は県文化室分室（中区本町1丁目本町旭ビル）に置き、メンバーは県の兼務職員4名(事務局長・古山登)と新規採用3名の7名でスタート。
4/20	文学館新築に関わる建築基準法に基づく建築審査会。
4/24	第1回理事会（出席20名 於・ホテルニューグランド）。名誉館長に尾崎一雄常務理事（兼務）を推挙。
5/20	建築主体工事入札。清水建設が落札。
6/26	第1回評議員会（出席31名 於・県庁会議室）。
7/6	第5回文学館建設推進文芸講演会（講師・三木卓評議員、小田切進理事長 於・大和市中央文化会館、7/17第6回 安西篤子評議員、古山登事務所局長 於・津久井町文化福祉会館、10/2第7回 中里恒子理事、小田切理事長 於・小田原市中央公民館、10/23第8回 遠藤周作氏、江藤淳理事 於・県政総合センター、11/13第9回 永井路子氏、小田切理事長 於・相模

1983年（昭和58）

1/22	第2回評議員会（出席35名 於・松村ビル）。
3/26	第3回建設推進懇話会を県政総合センターで開く。
3/31	尾崎一雄名誉館長死去。
4/23	第11回文学館建設推進文芸講演会（講師・古山高麗雄評議員、小田切理事長 於・座間市北地区文化センター、10/1第12回 中村光夫常務理事、小田切理事長 於・鎌倉市中央公民館、10/15第13回 中村常務理事、小田切理事長 於・茅ヶ崎市市民文化会館、12/10第14回 小島信夫氏、小田切理事長 於・川崎市中原市民館）。

1984年（昭和59）

4/27	〈藤田圭雄文庫〉受贈。以後継続して受贈。
5/6	〈獅子文六文庫〉受贈。以後継続して受贈。
5/7	開館記念展編集委員会を県東京事務所で開く。
5/21	第3回理事会（出席12名 於・県政総合センター）。第3回評議員会（出席32名 同）。理事、評議員が文学館建設工事現場を視察。
7/2	〈尾崎一雄文庫〉受贈を記者発表。尾崎松枝夫人も出席。
7/10	機関紙「神奈川近代文学館」創刊。
8/19	〈滑川道夫文庫〉受贈。以後継続して受贈。
8/31	〈尾崎一雄文庫〉受贈。以後継続して受贈。
9/5	開館記念展編集委員会（於・東京・都道府県会館）。
9/7	〈杉本三木雄資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。
9/9	〈国木田独歩資料〉購入。
9/20	〈神西清文庫〉受贈。以後継続して受贈。
10月	レプリカ製作事業開始。
11/16	〈木下杢太郎文庫〉受贈。以後継続して受贈。
12/20	〈大野林火文庫〉受贈。以後継続して受贈。
12/24	第4回評議員会（出席34名 於・ポートヒル横浜）。文学館建設工事現場を視察。
12/26	第4回理事会（出席13名 於・ポートヒル横浜）。文学館建設工事現場を視察。

1984年（昭和59）

3/8	〈山本周五郎資料〉受贈。以後継続して受贈。
3/23	定例県議会で文学館条例議決。
3/26	第5回理事会（出席11名）。
3/27	文学館完工引き渡し。
3/31	事務局、完工した文学館へ移転。
4/1	館長に小田切理事長が就任（兼任）。文学館事務局新組織発足。
5/17	F・キング氏、梅原猛氏ら第47回国際ペン東京大会参加者と日本ペンクラブ関係者86名が開館準備中の当館を視察。
5/30	第5回評議員会（出席25名）。
6月	貸会議室の供用開始。
6/2	第6回理事会（出席10名）。
6/14	〈渾大防小平資料〉受贈。
6/20	〈福本和夫文庫〉受贈。以後継続して受贈。
7/3	〈那須辰造文庫〉受贈。
7/6	〈高橋和巳資料〉受贈。以後継続して受贈。
8/17	〈土師清二資料〉受贈。以後継続して受贈。
8/25	開館記念文学講座「近代文学100年と神奈川」を開催（講師・磯田光一、9/1前田愛、9/8紅野敏郎、9/15尾崎秀樹、9/29保井正夫の各理事）。
	〈藤森成吉文庫〉受贈。以後継続して受贈。
9/6	〈獅子文六文庫〉第2次受贈。
9/21	〈尾崎一雄文庫〉第2次受贈。

1985年（昭和60）

1/29	〈勝呂忠文庫〉受贈。以後継続して受贈。
3/14	〈松永浩介資料〉受贈。以後継続して受贈。
3/23	〈添田啞蟬坊・知道文庫〉受贈。以後継続して受贈。
3/27	第8回理事会（出席9名）。第6回評議員会（出席22名）。
4/1	神奈川県博物館協会、神奈川県図書館協会に加盟。
4/10	〈鈴木三重吉・赤い鳥文庫〉受贈。以後継続して受贈。
4/27	「生誕100年 武者小路実篤と白樺美術展」開催（～5/26）。同日にレセプション。雑誌「新青年」の大揃いを購入。
6/1	第9回理事会（出席12名）。第7回評議員会（出席29名）。
7/1	事務局長に清水節男就任。
8/9	「生誕100年 木下杢太郎展」開催（～9/8）。同日にレセプション。
9/7	文学講座「日本の子どもの文学」（講師・関英雄理事、松谷みよ子氏、9/14長崎源之助評議員、藤田圭雄理事、9/21鳥越信氏、赤羽末吉氏、9/28上笙一郎氏、三木卓評議員、10/5滑川道夫理事、寺村輝夫氏）。
9/13	「没後20年 高見順展」開催（～10/13）。前日に内覧会。
10/19	「日本の子どもの文学展」開催（～11/24）。前日に内覧会。
12/26	第10回理事会（出席11名）。第8回評議員会（出席28名）。

1986年（昭和61）

1/23	〈里見弴資料〉受贈。以後継続して受贈。
2/22	「千羽鶴」原稿購入。
2/27	「没後50年 牧野信一展」開催（～3/23）。同日にレセプション。
3/19	尾崎一雄展記念文芸講演会（講師・阿川弘之理事 於・小田原市中央公民館、3/29中野孝次評議員）。
3/27	「尾崎一雄展」内覧会。尾崎松枝夫人ほか98名出席。
3/28	「尾崎一雄展」開催（～5/5）。収蔵文庫目録1『尾崎一雄文庫目録』刊行。
4/1	神奈川近代文学館「友の会」発足。
5/13	〈小林純一資料〉受贈。以後継続して受贈。
5/31	第11回理事会（出席8名）。第9回評議員会（出席22名）。
6/13	〈邦枝完二資料〉受贈。以後継続して受贈。
7/8	〈坂本一亀資料〉受贈。以後継続して受贈。
7/20	「蜘蛛の糸」原稿購入。
7/26	「鈴木三重吉没後50年記念展〈赤い鳥〉の森」開催（～8/31）。前日に内覧会。
8/13	稲垣達郎理事死去。
9/17	〈北林透馬資料〉受贈。
9/20	文学講座「文学・エンターテインメント'86—大衆文学の魅力」（講師・大岡昇平理事、山田宗睦氏、9/27村上光彦氏、杉森久英氏、10/4巖谷大四理事、村上元三監事、10/11権田萬治氏、尾崎秀樹理事、

	原市あじさい会館、11/20第10回 阿川弘之理事、小田切理事長 於・藤沢市鶴沼公民館）。
8/25	展示工事設計コンペ審査。丹青社案の採用が決まる。
8/31	建築工事着工（建設現場で安全祈願式）。
10/8	「痴人の愛」原稿購入。
12/22	第2回理事会（出席15名 於・ホテルニューグランド）。

1983年（昭和58）

1/22	第2回評議員会（出席35名 於・松村ビル）。
3/26	第3回建設推進懇話会を県政総合センターで開く。
3/31	尾崎一雄名誉館長死去。
4/23	第11回文学館建設推進文芸講演会（講師・古山高麗雄評議員、小田切理事長 於・座間市北地区文化センター、10/1第12回 中村光夫常務理事、小田切理事長 於・鎌倉市中央公民館、10/15第13回 中村常務理事、小田切理事長 於・茅ヶ崎市市民文化会館、12/10第14回 小島信夫氏、小田切理事長 於・川崎市中原市民館）。
4/27	〈藤田圭雄文庫〉受贈。以後継続して受贈。
5/6	〈獅子文六文庫〉受贈。以後継続して受贈。
5/7	開館記念展編集委員会を県東京事務所で開く。
5/21	第3回理事会（出席12名 於・県政総合センター）。第3回評議員会（出席32名 同）。理事、評議員が文学館建設工事現場を視察。
7/2	〈尾崎一雄文庫〉受贈を記者発表。尾崎松枝夫人も出席。
7/10	機関紙「神奈川近代文学館」創刊。
8/19	〈滑川道夫文庫〉受贈。以後継続して受贈。
8/31	〈尾崎一雄文庫〉受贈。以後継続して受贈。
9/5	開館記念展編集委員会（於・東京・都道府県会館）。
9/7	〈杉本三木雄資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。
9/9	〈国木田独歩資料〉購入。
9/20	〈神西清文庫〉受贈。以後継続して受贈。
10月	レプリカ製作事業開始。
11/16	〈木下杢太郎文庫〉受贈。以後継続して受贈。
12/20	〈大野林火文庫〉受贈。以後継続して受贈。
12/24	第4回評議員会（出席34名 於・ポートヒル横浜）。文学館建設工事現場を視察。
12/26	第4回理事会（出席13名 於・ポートヒル横浜）。文学館建設工事現場を視察。

1984年（昭和59）

3/8	〈山本周五郎資料〉受贈。以後継続して受贈。
3/23	定例県議会で文学館条例議決。
3/26	第5回理事会（出席11名）。
3/27	文学館完工引き渡し。
3/31	事務局、完工した文学館へ移転。
4/1	館長に小田切理事長が就任（兼任）。文学館事務局新組織発足。
5/17	F・キング氏、梅原猛氏ら第47回国際ペン東京大会参加者と日本ペンクラブ関係者86名が開館準備中の当館を視察。
5/30	第5回評議員会（出席25名）。
6月	貸会議室の供用開始。
6/2	第6回理事会（出席10名）。
6/14	〈渾大防小平資料〉受贈。
6/20	〈福本和夫文庫〉受贈。以後継続して受贈。
7/3	〈那須辰造文庫〉受贈。
7/6	〈高橋和巳資料〉受贈。以後継続して受贈。
8/17	〈土師清二資料〉受贈。以後継続して受贈。
8/25	開館記念文学講座「近代文学100年と神奈川」を開催（講師・磯田光一、9/1前田愛、9/8紅野敏郎、9/15尾崎秀樹、9/29保井正夫の各理事）。
	〈藤森成吉文庫〉受贈。以後継続して受贈。
9/6	〈獅子文六文庫〉第2次受贈。
9/21	〈尾崎一雄文庫〉第2次受贈。

9/22	開館記念文芸講演会。（講師・城山三郎理事、井上靖常務理事 於・神奈川県民ホール大ホール）。
10/5	〈木下杢太郎文庫〉第2次受贈。
10/13	文学館開館式、特別披露。長洲知事、小田切理事長、尾崎一雄夫人松枝氏がテープカット。
10/14	文学館開館一般公開。開館記念「近代文学100年と神奈川展」開催（～12/9）。
10/23	〈村井弦斎資料〉受贈。
11/2	文芸講演会（講師・中里恒子理事、小田切理事長 於・平塚市中央公民館）。
11/23	〈高木健夫文庫〉受贈（～24）。以後継続して受贈。
12/13	「没後15年 獅子文六展」開催（～1985/1/15）。同日にレセプション。
12/22	第7回理事会（出席9名）。

1985年（昭和60）

1/29	〈勝呂忠文庫〉受贈。以後継続して受贈。
3/14	〈松永浩介資料〉受贈。以後継続して受贈。
3/23	〈添田啞蟬坊・知道文庫〉受贈。以後継続して受贈。
3/27	第8回理事会（出席9名）。第6回評議員会（出席22名）。
4/1	神奈川県博物館協会、神奈川県図書館協会に加盟。
4/10	〈鈴木三重吉・赤い鳥文庫〉受贈。以後継続して受贈。
4/27	「生誕100年 武者小路実篤と白樺美術展」開催（～5/26）。同日にレセプション。雑誌「新青年」の大揃いを購入。
6/1	第9回理事会（出席12名）。第7回評議員会（出席29名）。
7/1	事務局長に清水節男就任。
8/9	「生誕100年 木下杢太郎展」開催（～9/8）。同日にレセプション。
9/7	文学講座「日本の子どもの文学」（講師・関英雄理事、松谷みよ子氏、9/14長崎源之助評議員、藤田圭雄理事、9/21鳥越信氏、赤羽末吉氏、9/28上笙一郎氏、三木卓評議員、10/5滑川道夫理事、寺村輝夫氏）。
9/13	「没後20年 高見順展」開催（～10/13）。前日に内覧会。
10/19	「日本の子どもの文学展」開催（～11/24）。前日に内覧会。
12/26	第10回理事会（出席11名）。第8回評議員会（出席28名）。

1986年（昭和61）

1/23	〈里見弴資料〉受贈。以後継続して受贈。
2/22	「千羽鶴」原稿購入。
2/27	「没後50年 牧野信一展」開催（～3/23）。同日にレセプション。
3/19	尾崎一雄展記念文芸講演会（講師・阿川弘之理事 於・小田原市中央公民館、3/29中野孝次評議員）。
3/27	「尾崎一雄展」内覧会。尾崎松枝夫人ほか98名出席。
3/28	「尾崎一雄展」開催（～5/5）。収蔵文庫目録1『尾崎一雄文庫目録』刊行。
4/1	神奈川近代文学館「友の会」発足。
5/13	〈小林純一資料〉受贈。以後継続して受贈。
5/31	第11回理事会（出席8名）。第9回評議員会（出席22名）。
6/13	〈邦枝完二資料〉受贈。以後継続して受贈。
7/8	〈坂本一亀資料〉受贈。以後継続して受贈。
7/20	「蜘蛛の糸」原稿購入。
7/26	「鈴木三重吉没後50年記念展〈赤い鳥〉の森」開催（～8/31）。前日に内覧会。
8/13	稲垣達郎理事死去。
9/17	〈北林透馬資料〉受贈。
9/20	文学講座「文学・エンターテインメント'86—大衆文学の魅力」（講師・大岡昇平理事、山田宗睦氏、9/27村上光彦氏、杉森久英氏、10/4巖谷大四理事、村上元三監事、10/11権田萬治氏、尾崎秀樹理事、

10/14 10/18 中島河太郎氏、秋山駿氏)。〈古沢太穂資料〉受贈。以後継続して受贈。
10/25 「大衆文学展 よみがえるヒーローたち」開催(～12/7)。前日に内覧会。
12/13 収蔵文庫目録2『獅子文六文庫目録』刊行。
12/26 第12回理事会(出席8名)。第10回評議員会(出席26名)。

1987年(昭和62)

2/5 磯田光一理事死去。
2/19 〈中川孝収集実篤文庫〉受贈。以後継続して受贈。
3/10 収蔵文庫目録3『大野林火文庫目録』刊行。
3/19 〈子母沢寛資料〉受贈。以後継続して受贈。
3/21 「没後15年 川端康成展」開催(～5/5)。前日に内覧会。川端康成展記念文芸講演会(講師・田久保英夫氏、中村真一郎氏 於・神奈川県民ホール小ホール)。

4/1 日本博物館協会に加盟。
4/5 中里恒子理事死去。
5/8 〈横浜演劇研究所資料〉受贈。
5/23 第13回理事会(出席4名)。第11回評議員会(出席23名)。

5/27 〈中西悟堂文庫〉受贈。以後継続して受贈。
7/11 「堀口大學展 詩の宝宝箱」開催(～8/23)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、中村真一郎理事、島田謹二氏、大學長女の高橋すみれ子氏)。

7/24 「川端康成展」関西展(於・高槻市西武百貨店)を西武美術館と共催(～8/5)。

7/27 前田愛理事死去。

9/5 文学講座「文学・エンターテインメント'87―大衆文学の魅力」(講師・尾崎秀樹理事、都筑道夫氏、9/12 山村正夫氏、鈴木貞美氏、9/19 小松伸六氏、綱淵謙錠氏、9/26 伊藤桂一氏、石川喬司氏、10/3 奥野健男評議員、大岡昇平理事)。

10/2 〈中里恒子文庫〉受贈。以後継続して受贈。
10/17 「夏目漱石展」開催(～11/15)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、井上靖常務理事、漱石長男の夏目純一氏、東慶寺前住職の井上禪定氏)。
10/24 夏目漱石展記念文芸講演会(講師・江藤淳理事、小島信夫氏 於・泉立青少年センターホール)。
11/26 「友の会」三浦半島文学散歩を開催。
12/26 第14回理事会(出席9名)。第12回評議員会(出席32名)。

1988年(昭和63)

1/30 「神奈川文学散歩展 三浦半島の風土と抒情」開催(～3/6)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の野上義一評議員、若山牧水長男の若山旅人氏)。
3/25 収蔵文庫目録4『木下杢太郎文庫目録』刊行。
3/26 第15回理事会(出席6名)。
4/23 「太宰治展」開催(～5/29)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の奥野健男評議員、県議の三谷光雄氏)。

5/3 太宰治展記念文芸講演会(講師・阿部昭氏、奥野健男評議員 於・神奈川県民ホール小ホール)。

山本健吉理事死去。

5/14 第16回理事会(出席7名)。第13回評議員会(出席23名)。

5/27 「友の会」湘南文学散歩を開催。
7/12 中村光夫常務理事死去。
7/20 〈長島三芳資料〉受贈。以後継続して受贈。
7/23 「神奈川文学散歩展 湘南の光と影」開催(～8/28)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の井上弘評議員、青木雨彦理事)。
7/29 〈村井弦斎資料〉受贈。以後継続して受贈。
8/14 瀬沼茂樹理事死去。
9月 電算機稼働(DEC MicroPDP11/73)。

94 文学館年表

9/10 文学講座「自作を語る」(講師・三田誠広氏、9/17 安西篤子理事、9/24 青野聰氏、10/1 五木寛之理事、10/8 中野孝次理事)。

10/22 「堀辰雄展―生涯と芸術―」開催(～11/27)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の中村真一郎理事、加藤周一氏、堀多恵夫人)。

10/23 近藤東評議員死去。

10/29 堀辰雄展記念文芸講演会(講師・中村真一郎理事)。
11月 図書データ電算入力開始(ソフト 丸善 CALIS)。
11/24 広津桃子評議員死去。
12/7 〈近藤東文庫〉受贈。以後継続して受贈。
12/15 〈中村光夫文庫〉受贈。以後継続して受贈。
12/23 第17回理事会(出席9名)。第14回評議員会(出席30名)。
12/25 大岡昇平理事死去。

1989年(昭和64・平成元)

3/25 収蔵文庫目録5『福本和夫文庫目録』刊行。
4/15 「中里恒子展―物語のこころ―」開催(～5/21)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、脇村義太郎氏、編集委員の巖谷大四理事、中里長女のスクリプナー圭氏)。

5/18 「友の会」横浜文学散歩を開催(5/30第2回)。
5/20 第18回理事会(出席5名)。第15回評議員会(出席23名)。

6/7 〈楠本憲吉文庫〉受贈。以後継続して受贈。
7/6 〈北原武夫資料〉受贈。以後継続して受贈。
7/22 「神奈川文学散歩展 横浜―文学の港」開催(～8/27)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、青木雨彦理事、山田今次評議員)。

7/29 神奈川文学散歩展記念文芸講演会「近代文学と横浜」(講師・中野孝次理事、飯沢匡氏)。

8/6 「横浜映画祭」(「午後の曳航」。8/13「やっさもっさ」、8/20「どですかでん」、8/27「痴人の愛」)。

9/5 小田切理事長、増改築について長洲知事に要望。
9/9 文学講座「自作を語る」(講師・大岡信氏、9/16 馬場あき子評議員、9/23 永井路子氏、9/31 加賀乙彦氏、10/7 野坂昭如氏)。

9/12 〈北村初雄資料〉受贈。以後継続して受贈。

9/21 〈堀辰雄文庫〉受贈。

10/21 「吉川英治展」開催(～11/26)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の尾崎秀樹理事、扇谷正造氏、吉川文子夫人)。

10/28 吉川英治展記念文芸講演会(講師・尾崎秀樹理事、杉本苑子氏 於・神奈川県民ホール小ホール)。

12/26 第19回理事会(出席9名)。第16回評議員会(出席28名)。

1990年(平成2)

2/3 〈西協順三郎資料〉受贈。以後継続して受贈。
3/25 収蔵文庫目録6『藤森成吉文庫目録』刊行。
3/31 「有島武郎・有島生馬・里見弴展―白樺派三兄弟の芸術―」開催(～5/6)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の紅野敏郎理事、遺族代表の神尾行三氏、松信泰輔監事)。

有島三兄弟展記念文芸講演会(講師・小川国夫氏)。
5/19 第20回理事会(出席6名)。第17回評議員会(出席22名)。

5/23 〈長篠康一郎収集太宰治文庫〉受贈。以後継続して受贈。

7/21 「ドキュメント 昭和の文学展」(共催・朝日新聞社)開催(～8/26)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、本多秋五評議員)。

7/27 ドキュメント昭和の文学展記念文芸講演会(講師・大江健三郎氏、宮尾登美子氏 於・神奈川県立音楽堂)。

8月 増改築工事設計調査に着手。

9/29 文学講座「自作を語る」(講師・吉村昭氏、10/6 加

藤椒郁氏、10/13 椎名誠氏、10/21 金井美恵子氏、10/27 城山三郎理事)。

10月 特別資料データ電算入力開始。

10/20 「神奈川文学散歩展 海辺のきらめき―小田原・真鶴・湯河原」開催(～11/25)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の永田東一郎氏、尾崎一雄夫人の尾崎松枝氏)。

10/25 「友の会」小田原・真鶴・湯河原文学散歩を開催。
12/26 第21回理事会(出席8名)。第18回評議員会(出席33名)。

1991年(平成3)

1/29 井上靖常務理事死去。
2/15 『神奈川近代文学年表 文学者たちの神奈川<明治編>』刊行。

3/21 〈中島敦文庫〉受贈。以後継続して受贈。
3/23 第22回理事会(出席8名)。中村真一郎氏を顧問に、中野孝次氏を常務理事に、伊藤信吉、黒井千次、清水節男、山田宗睦の各氏を理事に、石井茂、清原康正、鈴木健次、新倉俊一、林京子、春名徹、福田美鈴、山本道子の各氏を評議員に選任。(4/17付で就任)。

3/26 国立国会図書館マイクロ化事業協力。雑誌「新青年」

「文芸」貸出(～4/9)。

4月 雑誌データ電算入力開始。増改築工事基本設計に着手。
4/1 事務局長に倉和男就任。日本図書館協会に加盟。
4/6 「山本周五郎展」開催(～5/12)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の早乙女貢理事・山田宗睦理事・木村久邇典氏、佐多芳郎氏、尾崎秀樹理事)。

4/7 山本周五郎展映画会を6回開催(～5/12)。

4/12 〈野間宏資料(のちに文庫)〉受贈。以後継続して受贈。

4/13 山本周五郎展記念文芸講演会(講師・早乙女貢理事、山田宗睦理事)。

4/21 〈内田百閒資料〉受贈。
5/18 第23回理事会(出席6名)。第19回評議員会(出席26名)。

7/20 「神奈川文学散歩展 都市の叫び、水のささやき―川崎と文学」開催(～8/25)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、岡本太郎氏、編集委員の鳥居邦朗評議員、藤田親昌氏)。

7/24 「友の会」川崎文学散歩を開催(8/6第2回)。
9/21 文学講座「日本の詩歌」(講師・大岡信理事、9/28 稲畑汀子氏、金子兜太氏、10/5 佐佐木幸綱氏、尾崎左永子評議員、10/12 中村真一郎顧問、伊藤信吉理事)。

10/19 「日本の詩歌展―詩・短歌・俳句の100年」開催(～11/24)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集顧問の伊藤信吉理事・窪田章一郎氏、編集委員の大岡信理事、斎藤茂太氏)。

10/29 〈広津柳浪・和郎・桃子資料(のちに文庫)〉搬入。

12/1 〈生田長江資料〉受贈。

12/26 第24回理事会(出席10名)。第20回評議員会(出席38名)。

1992年(平成4)

2/29 〈中野重治資料〉受贈。以後継続して受贈。
3/25 収蔵文庫目録7『高木健夫文庫目録』刊行。
4月 増改築工事実施設計に着手。
4/4 「生誕100年 芥川龍之介展」開催(～5/10)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の中村真一郎顧問、遺族代表の芥川瑠璃子氏、県議会議長の三谷光雄氏)。

4/16 芥川龍之介展記念文芸講演会(講師・吉本隆明氏、中村真一郎顧問 於・神奈川県立音楽堂)。

5/20 「友の会」横須賀・三浦文学散歩を開催。

5/30 第25回理事会(出席9名)。第21回評議員会(出

席22名)。小山文雄氏を評議員に選任。
7/2 〈栗林一石路資料〉受贈。〈蘭郁二郎資料〉受贈。
9/26 「没後50年 中島敦展―一閃の光芒―」開催(～11/8)。同日にレセプション(挨拶・小田切理事長、編集委員の田鍋幸信氏、田沼智明氏、遺族代表・中島格氏、内田四方蔵評議員)。

9/27 中島敦展記念文芸講演会(講師・中野孝次常務理事)。
10月 増改築工事に着手。
10/10 文学講座「文学の風景―神奈川ゆかりの作品を味わう1」(講師・島田雅彦評議員、10/17 尾崎秀樹理事、10/24 島田修二評議員、10/31 木崎さと子氏、11/7 小島信夫氏)。

11/8 〈中島敦文庫〉第2次受贈。
12月 神奈川近代文学館条例一部改正(入観料等の改正)。
12/13 滑川道大理事死去。
12/18 〈龍胆寺雄資料〉受贈。以後継続して受贈。

〈松崎鉄之介資料〉受贈。以後継続して受贈。
12/20 小田切進理事死去。
12/25 第26回理事会(出席10名)。第22回評議員会(出席37名)。中野孝次常務理事を理事長代理に選任。

1993年(平成5)

2/20 第27回理事会(出席10名)。中野孝次常務理事(理事長代理)を理事長に選任(同日付で就任)。

2/25 〈中野孝次資料(のちに文庫)〉受贈。以後継続して受贈。

3/12 〈鮎川信夫・森川義信資料〉受贈。以後継続して受贈。

4月 電算機を上位機種に変更(DEC VAX4000-100)。

4/4 尾崎一雄没後10年記念講演会(講師・中野孝次理事長 於・小田原市梅の里センター)。

5/22 第1回県内巡回文芸講演会(講師・阿川弘之理事 於・真鶴町民センター、6/20 第2回 松谷みよ子氏 於・津久井町文化福祉会館、10/16 第3回 中野孝次理事長 於・茅ヶ崎市民文化会館)。

5/26 「友の会」大磯文学散歩を開催。
5/29 第28回理事会(出席8名)。第23回評議員会(出席29名)。

9/18 「湘南の文学と美術展」を平塚市美術館で開催(共催・平塚市美術館 ～10/17)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、原田実平塚市美術館館長、東珠樹氏、山田宗睦常務理事)。

9/23 湘南の文学と美術展記念講演会(講師・紅野敏郎理事 於・平塚市美術館講堂)。

10月 閲覧室改築工事のため休室(～94.3)。
10/2 文学講座「文学の風景―神奈川ゆかりの作品を味わう2」(講師・鈴木貞美氏、10/10 中沢いけい氏、10/17 清原康正評議員、10/23 栗津則雄氏、10/31 坂上弘氏)。

11/11 「友の会」横須賀・葉山・逗子文学散歩を開催。

12/21 第29回理事会(出席10名)。第24回評議員会(出席29名)。

1994年(平成6)

2/10 「友の会」下曽我文学散歩を開催。
2/28 〈佐藤正彰資料〉受贈。以後継続して受贈。
3/5 第4回県内巡回文芸講演会(講師・山田太一理事 於・松田町民文化センター、3/26 第5回 村松友視氏 於・厚木市文化会館)。

3/19 第30回理事会(出席10名)。
3/29 神奈川近代文学館条例一部改正(管理運営を財団へ委託)。業務が全面委託となる(4/1施行)。

増改築工事が竣工(3/15)。引き渡し。
4/1 閲覧室業務再開。閲覧室内に利用者専用の検索端末を設置。

貸会議室供用再開。

5/14 第25回評議員会(出席35名)。第31回理事会(出席11名)。理事長に中野孝次氏、常務理事に岡松和

5/21	夫、山田宗睦、五木寛之の各氏を再選。第6回県内巡回文芸講演会(講師・早乙女貢理事 於・ヴェルクよこすか)。	5/19	第27回評議員会(出席20名)。第33回理事会(出席8名)。岡崎洋知事を顧問に、松崎鉄之介氏、田中充県出納長を監事に、小倉進横浜市助役、野村靖夫県教育長、楳本伸也県民部長を理事に選任。
5/22	西脇順三郎展記念講演会(講師・池田満寿夫氏)。	5/23	県議会で議会代表の評議員に江田実、国吉一夫両議員を選任。
5/27	「西脇順三郎展」内覧会(挨拶・中野理事長、酒井忠康近代美術館館長、遺族代表の西脇順一氏、編集委員の粟津則雄氏)。	6/17	全国文学館協議会第1回総会(於・日本近代文学館)に岡松和夫常務理事と事務局長出席。
5/28	「西脇順三郎展」開催(共催・県立近代美術館～7/3、於・県立近代美術館)。	7/1	長洲一二前知事が名誉顧問に就任。
6/15	第1回文学館懇談会開催(於・日本近代文学館)。	7/9	〈中補助資料〉受贈。以後継続して受贈。
6/26	「泉鏡花展」編集委員会。	7/11	県監査委員による財団定期監査。
6/29	〈矢代幸雄資料〉受贈。	7/15	〈井上光晴資料〉受贈。以後継続して受贈。
7/1	収蔵文庫目録8『添田蛭螂坊・知道文庫目録』刊行。	7/27	夏休み子ども映画会(～7/30)。
7/2	講座「文学の風景―神奈川ゆかりの作品を味わう3」(講師・岡松和夫常務理事、7/9 尾崎左永子評議員、7/16 富岡幸一郎評議員、7/23 安西篤子理事、7/30 三浦雅士氏)。	8/1	博物館実習生受入れ(～8/6)。
8/2	この年から博物館実習生受入れ(～8/7)。	8/19	「神奈川文学散歩展―箱根・県央」編集委員会。
9/30	開館10周年・増築落成記念「収蔵コレクション展」特別披露・パーティー開催(挨拶・長洲一二知事、中野理事長、黒井千次日本近代文学館専務理事、熊山喜三郎県議会議長、古沢太穂評議員)。	8/30	神奈川県博物館協会創立40周年記念「神奈川ゆかりの文学展」開催(～9/10 於・横浜ごろう)。
10/1	「収蔵コレクション展」開催(～11/27)。第1展示室に常設展示「神奈川の風光と文学」を新設。	9/10	日中文化交流協会の招きで来日中の中国作家代表団の彭荊風(団長)、霍達、賀鴻鈞、趙長天、李錦琦の各氏と横川健協会常任理事が来館、岡松常務理事らと懇談、施設・展示などを見学。
10/6	真尾悦子氏から、諸作家の原稿、書簡等を受贈。	9/16	講座「鎌倉の作家」(講師・池内紀氏、9/23駒り喜美氏、10/1 伊藤信吉理事、10/7 三木卓理事、10/14 大庭みな子理事)。
10/23	開館10周年・増築落成記念文芸講演会(1)(講師・五木寛之常務理事)。	9/22	北海道立文学館開館式に清水節男理事、総務課長出席。
10/27	第2回文学館懇談会開催(於・日本近代文学館)。	9/30	全国文学館協議会幹事会・部会に事務局長ら出席(於・日本近代文学館)。
11/3	故井上光晴氏宅を川西政明理事ほかが訪問、資料の受贈について相談と下見。	10/3	資料委員会開催。
11/9	中国現代文学館主任の吳福輝氏、作家出版社副教授の朱珩青氏らが藤井省三東京大学教授の案内で来館。	10/5	岡崎知事が来館。中野孝次理事長と懇談後施設を視察。
11/10	第1回資料委員会開催。	10/21	「神奈川文学散歩展 鎌倉 文学の理想郷」開催(～11/26)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、編集委員の岡松和夫常務理事、里見弾四男の山内静夫氏)。
11/13	開館10周年・増築落成記念文芸講演会(2)(講師・水上勉氏)。	10/22	鎌倉展編集委員の伊藤海彦氏が急逝。展示課長ら弔問。映画会(「麦秋」、11/19「千羽鶴」)。
11/16	「友の会」文学散歩開催(11/19 第2回)。	10/28	鎌倉展記念講演会(講師・山田宗睦常務理事)。
12/22	第26回評議員会(出席32名)。第32回理事会(出席12名)。	11/3	「友の会」鎌倉文学散歩開催(11/8 第2回)。

1995年(平成7)

1/9	中野理事長、山田常務理事、清水理事が長洲知事に面会。95年度の文学館関連予算について12月22日提出の「要望書」の真意を説明。	12/9	「神奈川文学散歩展―箱根・県央」第2回編集委員会。
1/11	神奈川県博物館協会「40周年記念展」のための代表者会議に事務局長出席、当館を中心に「神奈川ゆかりの文学展」開催が決定。	12/23	第28回評議員会(出席29名)。第34回理事会(出席10名)。新たに理事に佐江衆一、中蘭英助の両氏、評議員に赤瀬川隼、加島祥造、木村尚三郎、十川信介、古屋健三の各氏を選任。
1/19	相良人形の「須加原コレクション」を県立歴史博物館に移管(～1/20)。		
1/22	「神奈川文学散歩展―鎌倉」編集委員会。	1996年(平成8)	1/10 大岡展準備で大岡家から資料搬入開始。
1/27	〈小巻豆城資料〉受贈。	2/4	〈李如雲資料〉受贈。以後継続して受贈。
2/21	開高健夫人・牧羊子氏から100万円の寄付を受ける。	3/2	全国文学館協議会幹事会・部会世話人会(於・日本近代文学館)に事務局長ら出席。
2/23	藤田圭雄理事宅を紅野理事らが訪ね、原稿等を受贈。〈横山健堂資料〉受贈。	3/25	『県立神奈川近代文学館収蔵 新聞・雑誌目録』刊行。
2/28	日本近代文学館・中村稔副理事長来訪、中野理事長と懇談。	4/6	箱根・県央展記念講演会(講師・早乙女貢理事 於・相模原市立あじさい会館ホール)。
3/11	全国文学館協議会第1回幹事会(於・日本近代文学館)。	4/12	関英雄理事死去。
3/25	『神奈川近代文学年表 文学者たちの神奈川〈大正・昭和前期編〉』刊行。	4/20	「神奈川文学散歩展 箱根・県央―緑と風と文学と」開催(～5/26)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、編集委員の清原康正評議員、山田宗睦常務理事)。
4/11	〈田中直樹資料〉受贈。	4/21	映画会(『箱根風雲録』、4/28「安宅家の人々」)。
4/22	「泉鏡花展―水の迷宮―」開催(～5/28)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、編集委員の川村二郎氏・松村友視氏、村松定孝氏)。	5/18	第29回評議員会(出席26名)。第35回理事会(出席11名)。
4/23	鏡花展記念映画会(～5/14)。	5/19	北条秀司評議員死去。
5/13	鏡花展記念講演会(講師・高橋治氏)。	5/21	「友の会」箱根文学散歩開催(5/24 第2回 講師・石井茂評議員)。
5/17	〈山崎方代資料〉受贈。以後継続して受贈。	5/23	県議会で議会代表の評議員に服部信明、矢部房男両

5/21	第27回評議員会(出席20名)。第33回理事会(出席8名)。岡崎洋知事を顧問に、松崎鉄之介氏、田中充県出納長を監事に、小倉進横浜市助役、野村靖夫県教育長、楳本伸也県民部長を理事に選任。	5/19	第27回評議員会(出席20名)。第33回理事会(出席8名)。岡崎洋知事を顧問に、松崎鉄之介氏、田中充県出納長を監事に、小倉進横浜市助役、野村靖夫県教育長、楳本伸也県民部長を理事に選任。
5/22	西脇順三郎展記念講演会(講師・池田満寿夫氏)。	5/23	県議会で議会代表の評議員に江田実、国吉一夫両議員を選任。
5/27	「西脇順三郎展」内覧会(挨拶・中野理事長、酒井忠康近代美術館館長、遺族代表の西脇順一氏、編集委員の粟津則雄氏)。	6/17	全国文学館協議会第1回総会(於・日本近代文学館)に岡松和夫常務理事と事務局長出席。
5/28	「西脇順三郎展」開催(共催・県立近代美術館～7/3、於・県立近代美術館)。	7/1	長洲一二前知事が名誉顧問に就任。
6/15	第1回文学館懇談会開催(於・日本近代文学館)。	7/9	〈中補助資料〉受贈。以後継続して受贈。
6/26	「泉鏡花展」編集委員会。	7/11	県監査委員による財団定期監査。
6/29	〈矢代幸雄資料〉受贈。	7/15	〈井上光晴資料〉受贈。以後継続して受贈。
7/1	収蔵文庫目録8『添田蛭螂坊・知道文庫目録』刊行。	7/27	夏休み子ども映画会(～7/30)。
7/2	講座「文学の風景―神奈川ゆかりの作品を味わう3」(講師・岡松和夫常務理事、7/9 尾崎左永子評議員、7/16 富岡幸一郎評議員、7/23 安西篤子理事、7/30 三浦雅士氏)。	8/1	博物館実習生受入れ(～8/6)。
8/2	この年から博物館実習生受入れ(～8/7)。	8/19	「神奈川文学散歩展―箱根・県央」編集委員会。
9/30	開館10周年・増築落成記念「収蔵コレクション展」特別披露・パーティー開催(挨拶・長洲一二知事、中野理事長、黒井千次日本近代文学館専務理事、熊山喜三郎県議会議長、古沢太穂評議員)。	8/30	神奈川県博物館協会創立40周年記念「神奈川ゆかりの文学展」開催(～9/10 於・横浜ごろう)。
10/1	「収蔵コレクション展」開催(～11/27)。第1展示室に常設展示「神奈川の風光と文学」を新設。	9/10	日中文化交流協会の招きで来日中の中国作家代表団の彭荊風(団長)、霍達、賀鴻鈞、趙長天、李錦琦の各氏と横川健協会常任理事が来館、岡松常務理事らと懇談、施設・展示などを見学。
10/6	真尾悦子氏から、諸作家の原稿、書簡等を受贈。	9/16	講座「鎌倉の作家」(講師・池内紀氏、9/23駒り喜美氏、10/1 伊藤信吉理事、10/7 三木卓理事、10/14 大庭みな子理事)。
10/23	開館10周年・増築落成記念文芸講演会(1)(講師・五木寛之常務理事)。	9/22	北海道立文学館開館式に清水節男理事、総務課長出席。
10/27	第2回文学館懇談会開催(於・日本近代文学館)。	9/30	全国文学館協議会幹事会・部会に事務局長ら出席(於・日本近代文学館)。
11/3	故井上光晴氏宅を川西政明理事ほかが訪問、資料の受贈について相談と下見。	10/3	資料委員会開催。
11/9	中国現代文学館主任の吳福輝氏、作家出版社副教授の朱珩青氏らが藤井省三東京大学教授の案内で来館。	10/5	岡崎知事が来館。中野孝次理事長と懇談後施設を視察。
11/10	第1回資料委員会開催。	10/21	「神奈川文学散歩展 鎌倉 文学の理想郷」開催(～11/26)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、編集委員の岡松和夫常務理事、里見弾四男の山内静夫氏)。
11/13	開館10周年・増築落成記念文芸講演会(2)(講師・水上勉氏)。	10/22	鎌倉展編集委員の伊藤海彦氏が急逝。展示課長ら弔問。映画会(「麦秋」、11/19「千羽鶴」)。
11/16	「友の会」文学散歩開催(11/19 第2回)。	10/28	鎌倉展記念講演会(講師・山田宗睦常務理事)。
12/22	第26回評議員会(出席32名)。第32回理事会(出席12名)。	11/3	「友の会」鎌倉文学散歩開催(11/8 第2回)。

5/25	議員を選任。「立原正秋展」編集委員会(出席・岡松和夫常務理事、高井有一氏の両委員 欠席・小川国夫氏)。	6/7	第31回評議員会(出席20名)。第38回理事会(出席12名)。新たに保昌正夫理事、安西篤子理事を常務理事に、上笙一郎氏を理事に選任。
5/30	李如雲氏の著作権を財団が受贈。	6/14	「広津三代展」(仮称)編集委員会(出席・阿川弘之理事、中島国彦氏、橋本迪夫氏、松原新一氏)。
6/15	全国文学館協議会幹事会、総会(於・日本近代文学館)に事務局長、総務課長出席。	6/19	全国文学館協議会幹事会、資料情報部会世話人会、総会(於・日本近代文学館)に事務局長、次長出席。
6/16	文芸映画会(「ガラスのうさぎ」)。	6/27	立原光代夫人から〈立原正秋文庫〉受贈。以後継続して受贈。
7/20	新展示「戦後の文学―新世代の登場まで」開催(～9/1)。	7/10	国会図書館の国際こども図書館職員来館。
7/23	夏休み子ども映画会(～7/25)。	7/13	文芸映画会(「破戒」)。
7/30	博物館実習生受入れ(～8/4)。	7/23	夏休み子ども映画会(～7/25)。
8/2	全国文学館協議会展示部会世話人会を当館で開催。	7/25	『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト1995～1996年度受入』を刊行。
8/4	映画会(「太陽の季節」、8/25「燃えつきた地図」)。	7/29	博物館実習生受入れ(～8/3)。
8/10	インターネット上に館のホームページを開設。	8/22	木戸又一評議員死去。
9/19	井上ふみ夫人から〈井上靖資料(のちに文庫)〉(旧蔵書)受贈。以後継続して受贈。	8/24	文芸映画会(「姿三四郎」)。
9/26	関英雄理事の長男・曠野氏から〈関英雄文庫〉を受贈。以後継続して受贈。	10/4	「文学の挿絵と装幀展」開催(～11/9)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、編集委員の榎田満文評議員、保昌正夫常務理事)。
9/28	文学講座「大岡昇平」(講師・秋山駿氏、澤地久枝氏、10/5 城山三郎理事、菅野昭正氏、10/12 四方田彦彦氏、佐木隆三氏)。	10/10	「文学の挿絵と装幀展」記念映画会(「ショキング・オ・ジャポーン」、10/18「竹久夢二物語 恋する」)。
10/8	資料委員会開催。	10/12	講座「文学の挿絵と装幀展」(講師・大岡信、出久根達郎、第2回10/19 粟津潔、司修)。
10/19	「大岡昇平展」開催(～11/24)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、遺族代表の大岡貞一氏、編集委員の吉田糺生氏)。遺族同席で中野孝次理事長が〈大岡昇平文庫〉受贈の共同記者発表。以後継続して受贈。	10/29	中国上海・華東師範大学副図書館長・陳子善氏調査見学。
10/20	映画会(「パンドラの箱」、10/27「事件」、11/3「野火」)。	10/31	全国文学館協議会資料情報部会(於・日本現代詩歌文学館)に事務局次長ら出席。
10/31	神奈川県図書館協会研修会を当館中会議室で開催。	11/5	〈谷田昌平・牟礼慶子資料〉受贈。以後継続して受贈。閲覧室で蔵書検索システムTelnet-OPACを稼働。
11/8	全国文学館協議会の第1回展示情報部会を当館で開催(34館56名参加)。	11/7	〈福田正夫資料〉受贈。以後継続して受贈。
11/30	〈高橋和巳資料〉を日本近代文学館へ移管。	11/14	県監査委員による財団定期監査。上海市・魯迅記念館・王錦榮副館長ら4名施設見学。
12/3	中野理事長、室谷千英副知事らと会談。	11/14	中国作家代表団の鄧友梅(団長)、曾鎮南、何申、格非、李錦琦の各氏と日中文化交流協会・横川健常任理事ら。中野理事長らが迎え懇談、施設と展示を見学。
12/21	第30回評議員会(出席29名)。第36回理事会(出席13名)。	11/21	さいたま文学館開館式に事務局長出席。
12/22	文芸映画会(「羅生門」)。	11/26	奥野健男評議員死去。

1997年(平成9)

1/28	西條八束氏来館、西條八十関係資料の寄贈を中野理事長に申し入れ。	12/23	第32回評議員会(出席29名)。第39回理事会(出席15名)。草間時彦評議員辞任。資料委員会も開催。
2/2	文芸映画会(「大菩薩峠」)。	12/25	中村真一郎顧問死去。
2/13	〈西條八十文庫〉受贈。以後継続して受贈。		
3/12	「文学の挿絵と装幀展」編集委員会(出席・尾崎秀樹理事、酒井忠康評議員、榎田満文評議員 欠席・安野光雅氏)。	1998年(平成10)	1/28 かがしま近代文学館開館式に事務局長出席。
3/15	第37回理事会(出席10名)。任期満了に伴う役員、評議員等の改選で、五木寛之常務理事と伊藤信吉理事が辞任。新たに紀田順一郎、竹口秀夫の両氏を理事に、佐藤さとる、大澤正之、樋口悦朗、寺田省三の各氏を評議員に選任(就任は4/1)。	1/28	「谷崎潤一郎展」編集委員会(出席・河野多恵子氏)。
3月	山田宗睦常務理事命名の「芸亭の桜」の脇に句碑(中野理事長題字、古沢太穂評議員作句)を設置。	2/5	文芸朗読会(朗読・高橋長英氏)。
4/12	「立原正秋展」開催(～5/18)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、編集委員の岡松和夫常務理事・高井有一氏)。	2/8	富永一矢氏から〈富永太郎資料〉受贈。以後継続して受贈。
4/19	立原展記念講演会(講師・小川国夫氏)。	2/1	富永一矢氏から〈富永太郎資料〉受贈。以後継続して受贈。
5/4	立原展記念朗読会(朗読・岸田今日子氏)。	2/18	寺田道子夫人から故寺田透氏の蔵書(〈のちに文庫〉)を受贈(3/3も)。以後継続して受贈。
5/10	全国文学館協議会幹事会(於・日本近代文学館)に事務局長出席。	3/7	収蔵コレクション展1「神西清文庫」開催。(～4/5)。
5/11	立原展記念映画会(「非行少年 若者の砦」)。	3/18	文書決議による第40回理事会(承認28名)開催。倉和男事務局長を理事に、清水節男氏を評議員に選任(4月1日付で就任)。
5/15	「友の会」の鎌倉文学散歩実施(5/16 第2回。各日2回。講師・金子昌夫氏、安西篤子理事)。	4/1	小森良治氏が理事に就任。北村紀男氏が評議員に就任。
5/23	立原展記念映画会(「非行少年 若者の砦」)。	4/11	「広津柳浪・和郎・桃子展」開催(～5/17)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、編集委員の阿川弘之理事・橋本迪夫氏)。
5/30	井上光晴夫人郁子氏、野間宏夫人光子氏来館。	4/16	〈中島可一郎資料〉受贈。以後継続して受贈。
6/1	文芸映画会(「野菊の如き君なりき」)。	4/18	広津展記念講演会(講師・阿川弘之理事)。

6/7	第31回評議員会(出席20名)。第38回理事会(出席12名)。新たに保昌正夫理事、安西篤子理事を常務理事に、上笙一郎氏を理事に選任。	7/10	国会図書館の国際こども図書館職員来館。
6/14	「広津三代展」(仮称)編集委員会(出席・阿川弘之理事、中島国彦氏、橋本迪夫氏、松原新一氏)。	7/13	文芸映画会(「破戒」)。
6/19	全国文学館協議会幹事会、資料情報部会世話人会、総会(於・日本近代文学館)に事務局長、次長出席。	7/23	夏休み子ども映画会(～7/25)。
6/27	立原光代夫人から〈立原正秋文庫〉受贈。以後継続して受贈。	7/25	『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト1995～1996年度受入』を刊行。
7/10	国会図書館の国際こども図書館職員来館。	7/29	博物館実習生受入れ(～8/3)。
7/13	文芸映画会(「破戒」)。	8/22	木戸又一評議員死去。
7/23	夏休み子ども映画会(～7/25)。	8/24	文芸映画会(「姿三四郎」)。
7/25	『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト1995～1996年度受入』を刊行。	10/4	「文学の挿絵と装幀展」開催(～11/9)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、編集委員の榎田満文評議員、保昌正夫常務理事)。
7/29	博物館実習生受入れ(～8/3)。	10/10	「文学の挿絵と装幀展」記念映画会(「ショキング・オ・ジャポーン」、10/18「竹久夢二物語 恋する」)。
8/22	木戸又一評議員死去。	10/12	講座「文学の挿絵と装幀展」(講師・大岡信、出久根達郎、第2回10/19 粟津潔、司修)。
8/24	文芸映画会(「姿三四郎」)。	10/29	中国上海・華東師範大学副図書館長・陳子善氏調査見学。
10/4	「文学の挿絵と装幀展」開催(～11/9)。同日にレセプション(挨拶・中野理事長、編集委員の榎田満文評議員、保昌正夫常務理事)。	10/31	全国文学館協議会資料情報部会(於・日本現代詩歌文学館)に事務局次長ら出席。
10/10	「文学の挿絵と装幀展」記念映画会(「ショキング・オ・ジャポーン」、10/18「竹久夢二物語 恋する」)。	11/5	〈谷田昌平・牟礼慶子資料〉受贈。以後継続して受贈。閲覧室で蔵書検索システムTelnet-OPACを稼働。
10/12	講座「文学の挿絵と装幀展」(講師・大岡信、出久根達郎、第2回10/19 粟津潔、司修)。	11/7	〈福田正夫資料〉受贈。以後継続して受贈。
10/29	中国上海・華東師範大学副図書館長・陳子善氏調査見学。	11/14	県監査委員による財団定期監査。上海市・魯迅記念館・王錦榮副館長ら4名施設見学。
10/31	全国文学館協議会資料情報部会(於・日本現代詩歌文学館)に事務局次長ら出席。	11/14	中国作家代表団の鄧友梅(団長)、曾鎮南、何申、格非、李錦琦の各氏と日中文化交流協会・横川健常任理事ら。中野理事長らが迎え懇談、施設と展示を見学。
11/5	〈谷田昌平・牟礼慶子資料〉受贈。以後継続して受贈。閲覧室で蔵書検索システムTelnet-OPACを稼働。	11/21	さいたま文学館開館式に事務局長出席。
11/7	県監査委員による財団定期監査。上海市・魯迅記念館・王錦榮副館長ら4名施設見学。	11/26	奥野健男評議員死去。
11/14	中国作家代表団の鄧友梅(団長)、曾鎮南、何申、格非、李錦琦の各氏と日中文化交流協会・横川健常任理事ら。中野理事長らが迎え懇談、施設と展示を見学。	12/23	第32回評議員会(出席29名)。第39回理事会(出席15名)。草間時彦評議員辞任。資料委員会も開催。
11/21	さいたま文学館開館式に事務局長出席。	12/25	中村真一郎顧問死去。
11/26	奥野健男評議員死去。		

4/30 横浜市の異動に伴い、大澤正之氏が評議員を退任、佐藤雅亮氏が評議員に就任（5/1）。

5/9 広津展記念朗読会（朗読・寺田農氏）。

5/16 第33回評議員会（出席23名）。第41回理事会（出席13名）。

5/22 仙台文学館・東海林恒英理事長、境洋文副館長ら視察に来館。

6/1 横浜市の異動に伴い、齋藤龍氏が理事を退任、岡本坦氏が理事に就任。

6/11 太田元吉氏から〈木下杢太郎文庫〉追加受贈。

6/18 全国文学館協議会幹事会・総会（於・日本近代文学館）に事務局長、総務課長出席。

6/24 吉田次郎氏が評議員を辞任、石井明氏が評議員就任（6/25）。

6/26 「開高健展」編集委員会（出席・加賀乙彦氏、黒井千次理事、高橋英夫氏 欠席・辻邦生氏）。

7/28 博物館実習（～8/2）。

7/29 第2回「谷崎潤一郎展」編集委員会（出席・編集委員・河野多恵子氏、編集協力・千葉俊二氏）。

8/26 田村隆一評議員死去。

8/30 台湾国立文化資産保存研究中心籌備處・林金梅主任が調査に来館。

9/5 堀田善衛評議員死去。

9/15 『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1994・1997 年度受入』刊行。

9/29 かごしま近代文学館から展示実習職員受入（～10/1）。

10/3 「谷崎潤一郎展」開催（～11/8）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の河野多恵子氏、遺族代表の観世恵美子氏、嶋中雅子中央公論社会長）。山田今次評議員死去。

10/10 谷崎潤一郎展映画会（「細雪」、10/25「春琴物語」）。

10/16 鹿児島市教育施設管理公社・浜理忠宜理事らが視察。

10/17 講座「谷崎潤一郎」（講師・佐伯彰一氏、種村季弘氏、10/24 島田雅彦評議員、川本三郎氏、10/31 三浦雅士氏、河野多恵子氏）。

10/22 国際子ども図書館・児童書専門類縁機関による協力者会議（平成10年度第1回）に職員出席（3/9も）。

10/25 日中文化交流協会を通じて中国人民対外友好協会代表団の作家・舒乙団長、李鉄民、傅家宝、馬俊軍、劉子敬、董振華氏の各氏が来館。

11/5 吉野美耶子氏から〈吉野秀雄資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。

11/14 収蔵コレクション展2「近藤東文庫」開催（～1999/1/10）。

11/20 全国文学館協議会総務情報部会（於・大原高枝文学館）に総務課長ら出席。

12/13 「永井荷風展」編集委員会（出席・安岡章太郎、竹盛天雄、近藤信行の両氏）。

12/15 第1回司馬遼太郎展企画委員会に展示課長ら出席（2/1、3/25も）。

12/22 第34回評議員会（出席26名）。第42回理事会（出席15名）。資料委員会も開催。広津和郎、桃子著作権の収入を原資に広津基金預金を創設。

1999年（平成11）

1/31 森本敏男氏が評議員を辞任。水木初彦氏が評議員就任（2/1）。

2/6 文芸朗読会（「太宰治を読む」朗読・山本學氏）。

3/4 松本清張記念館・藤井康榮館長ら視察に来館。

3/5 井上ふみ夫人から〈井上靖資料（のちに文庫）〉追加受贈。中山晋平記念館・小林盛康館長ら視察に来館。

3/31 倉和男（振興会）事務局長が退職。4/1以降常勤理事。

4/1 流石征治県立図書館長が評議員に就任。斉藤充次長、事務局長に就任。

4/3 菊村到評議員死去。

4/5 収蔵文庫目録10『中里恒子文庫目録』刊行。

98 文学館年表

4/10 「開高健展」開催（～5/16）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の黒井千次理事・高橋英夫氏、開高夫人・牧羊子氏）。

4/17 講座「開高健の世界」（講師・高樹のぶ子氏、大岡玲氏、4/24 黒井千次理事、増田みず子氏、5/1 加賀乙彦氏、川村湊氏）。

4/24 講座講師で来館の黒井千次理事を訪ねて伊藤信吉理事来館。

5/4 名誉顧問・長洲一二前県知事死去。

5/15 第35回評議員会（出席24名）。第43回理事会（出席8名）。

5/24 青景孝子、はかりや珠江の両氏が評議員を退任、小川久仁子、吉田大成の両氏が評議員に就任（5/25）。伊藤仁出納長が監事に、赤羽根日出夫図書館長が評議員に就任。松本県民部次長、黒川文化課長着任の挨拶に来館。

6/17 全国文学館協議会総会、展示情報部会世話会に事務局長ら出席。

6/19 夏目嘉米子氏から〈夏目漱石資料〉受贈。以後継続して受贈。

7/8 「司馬遼太郎が愛した世界展」全体会議に参事ら出席。

7/9 漱石資料受贈記者発表（出席・保昌正夫常務理事、倉和男理事、清水節男評議員）。

7/15 『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1993・1998 年度受入』刊行。

7/20 鈴木三重吉長男の鈴木珊吉氏から〈鈴木三重吉・赤い鳥文庫〉を追加受贈。

7/21 江藤淳理事死去。

7/27 博物館実習（～8/1）。

8/12 〈藤田圭雄文庫〉の追加寄贈で、藤田圭雄理事、長男滋氏を伴って来館。

8/27 高井有一氏、秋田県角館町の職員を伴い文学館建設の相談に来館。

9/11 「川端康成生誕100年記念講演会」（講師・竹西寛子氏）。

9/21 尾崎秀樹理事死去。

10/2 「永井荷風展」開催（～11/7）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の安岡章太郎氏・竹盛天雄氏）刊行。

10/11 「原爆文学展」編集委員会開催（出席・編集委員・中野理事長、編集協力・黒古一夫氏）。永井荷風展講演会（講師・永井路子氏）。

10/16 永井荷風展朗読会（朗読・大和田伸也氏）。

10/21 〈正岡容資料〉を長女の正岡淳子氏から受贈。

10/26 さいたま文学館職員、研修で来館。

10/27 石井光太郎評議員死去。

10/29 全国文学館協議会展示情報部会（於・北海道文学館）に参事ら出席。

10/30 当館後援の平塚市神田公民館講演会（講師・早乙女貢理事）。

11/7 藤田圭雄理事死去。

11/19 県監査委員による財団定期監査。

11/27 「尾崎一雄生誕百年の会」（於・下曾我）に理事ら出席。

12/21 第36回評議員会（出席26名）。第44回理事会（出席11名）。資料委員会も開催。

2000年（平成12）

1/28 〈山田今次資料〉の第2次分受贈。

2/1 神奈川近代文学館周辺美化環境整備事業始まる。

2/10 改正寄付行為が県の認可を得る。紀田順一郎、三木卓の両理事が常務理事に就任。

2/19 収蔵コレクション展3「尾崎一雄文庫」開催（～4/16）。

2/26 尾崎一雄生誕100年記念講演会（講師・中野理事長）。

3/2 古沢太穂評議員死去。

3/8 岡松和夫常務理事から著作原稿〈岡松和夫資料〉受贈。

3/11 尾崎一雄生誕100年記念朗読会（朗読・米倉齊加年

氏）。

3/15 吉田嘉子夫人から〈吉田満資料〉を受贈。

3/18 第37回評議員会（出席20名）。第45回理事会（出席9名）。任期満了に伴う役員、評議員の改選が行われる。

3/23 山室静評議員死去。

3/24 広島県福山市議会議員視察に来館。

4/1 小泉浩一郎、篠崎孝子、水木初彦、山田太一の各氏が理事に、寛楨二、川本三郎、志村有弘、南原幹雄、日高昭二、富士川義之、山崎洋子の各氏が評議員に就任。所蔵資料検索のインターネット公開開始。

4/9 「子どもの本の世界展」第1回編集委員会（出席・編集委員・上笙一郎理事、司修氏、三木卓常務理事、編集協力・佐藤宗子氏）。

4/22 「司馬遼太郎が愛した世界展」開催（共催・NHK、朝日新聞社 ～5/28）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、清原康正評議員ほか）。

4/29 映画会開催（「尻啖え孫一」）。

5/13 第46回理事会（出席17名）。第38回評議員会（出席21名）開催。中野理事長と6名の常務理事が再任、阿川弘之氏を顧問に、川口繁男、富田日出男の両氏を理事に、馬場昭男氏を評議員に選任。「神奈川近代文学館を支援（サポート）する経営者の会」第1回総会も開催。会長に篠崎孝子氏、幹事に板倉敬子、岩宮陽子、近澤弘明、鈴木智恵子、林兼正、田沼智明の各氏を選出。同日、吉田薫生評議員死去。

5/14 文学講座「司馬遼太郎」（講師・小山内美江子氏、鶴見俊輔氏、5/21 出久根達郎氏、半藤一利氏）。

5/17 「友の会」文学散歩（講師・藤谷宏樹氏。横須賀方面、24日も）。

6/4 図書館資料サービス研究会（都内12施設から15名）が施設見学。

6/15 全国文学館協議会総会、資料情報部会世話会に倉理事ら出席。

6/18 〈藤田圭雄文庫〉追加寄贈の件で、長男滋氏を事務局長、資料課長らが訪ね、挨拶と資料搬出の打ち合わせ。7/1から収書始まる。

7/10 『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1992・1999 年度受入』刊行。

7/12 収蔵文庫目録11『中村光夫文庫目録』刊行。

7/25 博物館実習（～30）。

8/23 古河文学館職員、展示研修で来館。

9/15 木村剛太郎夫妻、福島県小高町教育長ら〈埴谷雄高資料〉の件で倉理事、事務局長と面談（11/11に下見）。

9/20 〈花田清輝資料〉受贈。以後継続して受贈。

10/7 「原爆文学展」開催（～11/12）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長（編集委員）、林京子理事、編集協力の黒古一夫氏）。

10/8 原爆文学展朗読会（朗読・加賀美幸子氏）。

10/13 〈平塚武二資料〉受贈。以後継続して受贈。

10/15 映画会（「八月の狂詩曲」、11/3「黒い雨」）。

10/19 〈中尾進資料〉受贈。以後継続して受贈。

10/27 全国文学館協議会資料情報部会（於・姫路文学館）に資料課長ら出席。

10/29 原爆文学展講演会「被爆とわたくし」（講師・林京子理事）。

11/8 吉野美耶子氏から〈吉野秀雄文庫〉追加受贈。粕山佐保子・三輪子氏から〈粕山粹月資料〉受贈。以後継続して受贈。

11/18 収蔵コレクション展4「木下杢太郎文庫」開催（～2001/1/14）。遺族の太田昭子・寧子氏ほか来館。

11/29 「野間宏展」編集委員会（出席・編集委員・黒井千次理事、編集協力・紅野謙介氏）。同日、故吉田薫生評議員の旧蔵書が夫人の倫子氏から寄贈。また山本れい子氏（七平夫人）資料寄贈の件で来館（12/7に下見）。

12/12 藤木宏幸理事、病のため辞任。

12/22 資料委員会開催。収蔵庫を視察。今後の収集等について審議。

12/24 「元台南州庁修復再利用企画検討会」（於・台南市）に事務局長出席（2001/3/3も）。

2001年（平成13）

1/13 本多秋五評議員死去。

1/14 本館南側法面改修工事始まる。

1/15 川合澄男評議員死去。

1/22 「芸亭の桜」の支柱敷設工事。

1/24 〈中園英助資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。

1/26 鎌倉市芸術文化振興財団職員、研修で来館（～27）。

2/3 〈尾崎秀樹資料〉（旧蔵書）下見で清原康正評議員、事務局長ら尾崎家に挨拶。

2/12 熊澤正一評議員死去。

2/24 文芸朗読会（朗読・津嘉山正種氏）。

3/9 全国文学館協議会資料情報部会共同討議に資料課長ら出席。

3/22 東屋跡記念碑除幕式に佐江衆一理事、小山文雄評議員ら出席。同日、県公益法人等連絡協議会共同事業部会幹事に総務課長補佐出席。

3/24 第47回理事会（出席13名）。第39回評議員会（出席26名）開催。飯塚谷、太田治子、荻野アンナ、杉山信雄、林淑美の各氏を評議員に選任。

4/7 「子どもの本の世界展」開催（～5/13）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の三木卓常務理事・上笙一郎理事）。

4/15 「子どもの本の世界展」人形劇（4/30も）。

4/19 斉藤充事務局長死去。

4/22 「子どもの本の世界展」文学講座「子どもと文学の現在・未来」（講師・舟崎克彦氏、落合恵子氏、5/5 対談・谷川俊太郎氏、工藤直子氏）。

5/13 「夏目漱石展」編集委員会（出席・岡松和夫常務理事、石崎等氏）。

5/26 第48回理事会（出席11名）。第40回評議員会（出席21名）。橋本正俊氏が監事に、畠山康、赤間二郎の両氏が評議員に就任。「神奈川近代文学館を支援する経営者の会」第2回総会も開催。

5/27 文芸朗読会（朗読・藤村志保氏）。

6/1 国正道夫資料課長が事務局長に就任。

6/14 全国文学館協議会（於・日本近代文学館）。

6/20 「有鄰」の座談会「神奈川近代文学館コレクションの粋を語る」当館で開催。（中野孝次理事長、安西篤子、三木卓両常務理事、有隣協会会長篠崎孝子理事、倉理事）。

7/10 『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1991・2000 年度受入』刊行。

7/11 県監査委員による財団定期監査。

7/20 〈埴谷雄高資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。

7/28 「子どもの本の世界展」（共催・会場・古河文学館）開催（～9/2）。当館巡回展「20世紀の子どもの本とうた展」（会場・小田原文学館）開催（～9/2）。博物館実習（～8/5）。

9/4 〈井上靖資料〉下見で事務局長、資料課長が井上ふみ夫人、長女の浦城幾世氏に挨拶。

9/8 山本れい子夫人から〈山本七平資料〉受贈。以後継続して受贈。

10/6 「野間宏と戦後派の作家たち展」開催（～11/11）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の黒井千次理事、野間光子夫人、岡松和夫常務理事）。

10/24 〈井上靖資料〉追加受贈。33番目の文庫「井上靖文庫」として新たに設置された井上靖記念室で保存。先に受贈の〈埴谷雄高資料〉を34番目の文庫とした。

11/1 「友の会」文学散歩（講師・武田弘之氏。真鶴・湯河原方面、9日も）。

文学館年表 99

11/10	野間宏展講演会「戦後文学の光景」（講師・立松和平氏）。
11/16	全国文学館協議会総務情報部会（於・中原中也記念館）に総務課長ら出席。
11/17	「神奈川文化賞 50 年の文学者たち展」開催（～ 1/20）。「生誕 100 年記念展 歌びと吉野秀雄」編集委員会（出席・中野孝次理事長、島田修二評議員）。
12/15	当館巡回展「子どもの本のの世界展」（会場・相模原市立橋本図書館）開催（～ 2002/1/14）。
12/17	片岡懋評議員死去。

2002 年（平成 14）

1/14	〈井上靖文庫〉〈埴谷雄高文庫〉受贈について報道各社に通知。
1/26	〈井上靖文庫〉〈埴谷雄高文庫〉の一部を常設展に併せて展示紹介。（～ 3/3）。
2/24	文芸朗読会（朗読・児玉清氏）。
3/9	収蔵コレクション展 5『藤森成吉文庫』開催（～4/21）。
3/11	古山高麗雄評議員死去。
3/25	収蔵文庫目録 12『近藤東文庫目録』刊行。
3/30	第 49 回理事会（出席 11 名）。第 41 回評議員会（出席 28 名）。
4/2	〈吉野秀雄資料〉追加受贈。
4/9	中蘆英助理事死去。
4/27	「夏目漱石展」開催（共催・朝日新聞社 ～ 6/9）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の石崎等氏・岡松和夫常務理事、遺族の夏目房之介氏）。
4/28	夏目漱石展文学講座「漱石文学の魅力」（講師・井上ひさし理事、5/12 対談・夏目房之介氏、嵐山光三郎氏、5/19 久世光彦氏）。
5/1	第 1 回「文学館友の会の集い」開催。〈菅原克己資料〉受贈。
5/25	第 50 回理事会（出席 12 名）。第 42 回評議員会（出席 23 名）開催。川本三郎、清原康正、佐藤雅亮、富岡幸一郎の各氏が理事に、翌日付で新井満、川村湊、佐藤宗子、縄田一男、藤沢周の各氏が評議員に就任。書面表決により 6/1 付で土井隆典氏も。理事長、常務理事を再選。清原理事、寛楨二、宮坂寛両評議員を資料委員に選任。「神奈川近代文学館を支援(サポート)する経営者の会」第 3 回総会も開催。
5/29	〈中蘆英助資料（のちに文庫）〉追加受贈。
6/4	「不滅の剣豪 3 人展」編集委員会（出席・早乙女貢理事、縄田一男評議員）。
6/13	全国文学館協議会総会（於・日本近代文学館）。出席館のうち 13 館 15 名が当館を見学。
7/10	『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1990・2001 年度受入』刊行。
7/30	博物館実習（～ 8/4）。
8/17	横浜文学講座（講師・倉和男理事）8/24 も。
9/26	〈尾崎秀樹資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。
9/28	秋の文化講演会（講師・山田太一理事、於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
10/5	文芸朗読会（朗読・北村和夫氏）。
10/8	〈前田夕暮資料〉受贈。
10/12	「生誕 100 年記念展 歌びと吉野秀雄」、収蔵コレクション展 6「中島敦文庫」開催（～ 11/24）。同日にレセプションを開催（挨拶・中野理事長、編集委員の島田修二氏、遺族の吉野美耶子氏・島田康夫氏）。
10/20	映画会（「わが恋わが歌」）。
10/23	〈荻原井泉水文庫〉受贈。以後継続して受贈。
10/26	吉野秀雄展文芸講演会（講師・馬場あき子評議員）。
11/14	〈堀田善衛文庫〉受贈。以後継続して受贈。
11/15	全国文学館協議会展示情報部会（於・司馬遼太郎記念館）に展示課長ら出席（～ 16）。

100 文学館年表

11/20	保昌正夫常務理事死去。
11/23	「井上靖展」編集委員会（出席・大岡信理事、曾根博義氏）。
12/3	「吉野秀雄展」を高崎市タワー美術館で巡回展示（～ 2003/1/13、共催・高崎市）。
12/4	資料委員会開催。
12/6	〈中野重治資料〉第 2 次追加で書簡約 2,000 通を受贈。

2003 年（平成 15）

1/23	保昌正夫さんを偲ぶ会（於・日本近代文学館）に理事ら出席。
3/2	生島治郎評議員死去。
3/9	講演会「私の本について話そう」(講師・新井満評議員、紀子夫妻）。
3/22	第 51 回理事会（出席 15 名）。第 43 回評議員会（出席 23 名）。
3/23	文芸朗読会（朗読・新井純）。
3/25	収蔵文庫目録 13『鈴木三重吉・赤い鳥文庫目録』刊行。
4/26	「不滅の剣豪（ヒーロー） 3 人展」開催（～ 6/8）。同日にレセプションを開催（挨拶・中野理事長、編集委員の早乙女貢理事・清原康正理事・縄田一男氏）。不滅の剣豪（ヒーロー） 3 人展講演会（講師・早乙女貢理事、5/10 佐江衆一理事、5/17 秋山駿氏）。
5/31	第 52 回理事会（出席 12 名）。第 44 回評議員会（出席 15 名）。松沢成文知事を顧問に、鈴木恒夫、横田和浩両氏を評議員に選任。
6/6	「神奈川近代文学館を支援する経営者の会」第 4 回総会。
6/7	第 2 回「文学館友の会の集い」。
6/10	〈嶋中雄作・鵬二資料〉受贈。
6/28	講演会「私の本について話そう」（講師・夏目房之介氏）。
7/5	「21 世紀文学の預言者 芥川龍之介展」編集委員会（出席・川本三郎理事、宮坂寛評議員）。
7/10	『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 2002 年度受入』刊行。
7/13	友の会文学講座（講師・小山文雄評議員）。7/19 も。
7/15	県監査委員による財団定期監査。小澤彰評議員死去。
7/27	〈中尾充夫収集トルストイ資料〉受贈。以後継続して受贈。
9/6	友の会文学講座（講師・福田美鈴評議員）。9/13 も。
9/12	理事長と全常務理事との懇談会。
9/21	講演会「私の本について話そう」（講師・阿川佐和子氏、於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
9/23	〈吉屋信子資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。
10/4	「井上靖展」開催（～ 11/16）。同日にレセプションを開催（挨拶・中野理事長、編集委員の曾根博義氏・大岡信理事、井上長女の浦城幾世氏）。
10/11	井上靖展講演会（講師・椎名誠氏）。
10/29	資料委員会開催。
11/1	秋篠宮妃殿下と眞子内親王、井上展をご観覧。
11/2	井上靖展朗読会（朗読・栗原小巻氏）。
11/15	中国作家代表団（団長・蔣子龍、李惠善、徐福生、陸天明、李錦琦の各氏）来館、井上展を観覧後、理事長と懇談。
11/21	〈金達寿資料(のちに文庫)〉受贈。以後継続して受贈。
11/22	収蔵コレクション展 7「高木健夫文庫」開催（～ 2004/1/18）。
12/6	講演会「私の本について話そう」(講師・藤沢周評議員）。
12/18	〈井伏鱒二資料〉受贈。以後継続して受贈。

2004 年（平成 16）

1/24	中尾充夫収集トルストイ資料を展示。（～ 2/29）
2/3	矢代幸雄資料を県立近代美術館葉山館に移管。

2/28	講演会「私の本について話そう」(講師・江森國友評議員）。
3/2	〈野村吉哉資料〉受贈。以後継続して受贈。
3/14	文芸朗読会（朗読・野沢那智氏）。
3/17	開館 20 周年記念の理事、評議員による神奈川新聞へのリレーエッセイ開始。
3/20	第 53 回理事会（出席 15 名）。第 45 回評議員会（出席 21 名）。尾崎左永子、司修、馬場あき子の各氏を理事に、竹口秀夫氏を監事に、禿慶子、倉和男、紅野謙介、新保祐司、辻原登、黛まどか、諸角せつ子、八木幹夫の各氏を評議員に選任。
4/24	「21世紀文学の預言者 芥川龍之介展」開催（～6/6）。前日に内覧会。
5/1	芥川龍之介展講演会（講師・北村薫氏、5/8 佐江衆一理事、5/15 森まゆみ氏）。
5/29	芥川龍之介展朗読会（朗読・夏八木勲）。
5/30	第 54 回理事会（出席 9 名）。第 46 回評議員会（出席 26 名）。加藤種男氏、田代球喜県民部長を理事に、河野誠県立図書館長、山梨俊夫県立近代美術館長を評議員に選任。
6/1	金達寿氏の著作権を財団が受贈。
6/2	松沢成文知事と県観光親善大使の黛まどか評議員が芥川展を観覧。
6/4	「神奈川近代文学館を支援する経営者の会」幹事会と第 5 回総会を開催。
6/5	第 3 回「文学館友の会の集い」。
6/12	講演会「私の本について話そう」（講師・小林恭二氏）。
6/30	〈中山義秀文庫〉受贈。
7/10	『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1983 ～ 1989 年度受入』刊行。
7/16	中野孝次理事長死去。
7/19	「生誕 80 年没後 35 年記念展 三島由紀夫ドラマティックヒストリー」編集委員会を世田谷文学館で開催（出席・編集委員・佐伯彰一氏、編集協力・井上隆史、佐藤秀明の両氏）。
8/7	「神奈川の文学 鎌倉女学校と作家たち」(共催・鎌倉女学院) 常設展と同時開催（～ 9/26）。
8/8	「鎌倉女学校と作家たち」展講演会（対談・岸田夏子氏、酒井忠康氏。野尻政子氏、安西篤子常務理事）。
8/28	友の会文学講座（講師・槌田満文評議員）。8/29 も。
9/12	島田修二評議員死去。
9/18	秋の文化講演会（講師・城山三郎理事、於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。第 55 回臨時理事会（出席 9 名）。安西常務理事を理事長に選任。
10/2	「開館 20 周年記念収蔵コレクション展 作家の筆跡。作家の逸品。」開催（～ 11/28）。開館 20 周年記念リレートーク（講師・安西理事長、紀田順一郎常務理事、尾崎左永子理事、三木卓常務理事）。
10/9	講演会「私の本について話そう」（講師・新井満評議員）。
10/20	「近藤東生誕 100 年メモリアル展」（於・小会議室、共催・横浜詩人会）開催（～ 27）。資料委員会開催。
10/27	講演会「私の本について話そう」（講師・佐藤さとの評議員、末吉暁子氏）。
11/20	講演会「私の本について話そう」（講師・馬場あき子理事）。
11/29	安西理事長、紀田、三木両常務理事と田代県民部長、笠井郁彦文化課長、今後の文学館の管理運営について会談。
12/3	新常設展内覧会。理事懇談会（出席、理事 14 名、監事 1 名）。指定管理制度への対応について協議。
12/4	新常設展第 1 部開催。講演会「私の本について話そう」（講師・早乙女貢理事）。
12/5	「かなぶんキッズクラブ 絵本であそぼ！」（読み聞かせ・よこはま文庫の会）。

12/21	今西祐行評議員死去。
12/26	「日本の童謡 白秋、八十一そしてまど・みちおと金子みすゞー」展編集委員会（出席・三木常務理事、上理事）。

2005 年（平成 17）

1/19	〈黒岩重吾資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。
2/19	新常設展第 2 部オープン。
2/20	文芸朗読会（朗読・加藤武氏）。
3/1	野上義一評議員死去。
3/25	収蔵文庫目録 14『楠本憲吉文庫目録』刊行。
3/26	第 56 回理事会（出席 13 名）。第 47 回評議員会（出席 28 名）。荻野アンナ、島田雅彦の両氏、笠井郁彦文化課長を理事に、永峰潤氏を監事に選任。
3/31	中野前理事長を偲び花見の宴を開催。
4/23	「生誕 80 年・没後 35 年記念展 三島由紀夫ドラマティックヒストリー」(共催三島由紀夫文学館) 開催（～ 6/5）。前日に内覧会。
4/30	三島由紀夫展朗読会（朗読・岸田今日子氏）。
5/8	三島由紀夫展講座（講師・島田雅彦理事、5/15 辻井喬氏、5/22 高橋睦郎氏、5/29 猪瀬直樹氏）。
5/14	第 57 回理事会（出席 13 名）。第 48 回評議員会（出席 22 名）。二見研一文化課長を理事に、荒俣宏、伊井直行、北方謙三、三枝昂之、千葉俊二、津田信治県立図書館長、水原繁苑、米原万里の各氏を評議員に選任。「神奈川近代文学館を支援する経営者の会」総会。
6/5	第 4 回「文学館友の会の集い」（講師・藤田三男氏）。
6/11	新常設展第 3 部オープン。
6/25	講演会「私の本について話そう」（講師・山崎洋子評議員）。
7/12	〈唐沢隆三収集資料〉受贈。以後継続して受贈。
7/15	理事長・常務理事懇談会。
7/20	神奈川近代文学館指定管理者評価会議。
7/29	中国現代文学館代表团一行 5 名が館見学。安西篤子理事長、岡松和夫常務理事と会談。
8/4	〈日影丈吉資料〉受贈。
8/6	「没後 60 年 島木健作展」開催（～ 9/25）。
8/13	島木健作展講演会（講師・永井路子氏、新保祐司評議員）。
8/20	友の会文学講座（講師・千早耿一郎氏）。
9/15	「吉屋信子」展編集委員会（出席・安西理事長、岩淵宏子氏）。
9/23	講演会「私の本について話そう」（講師・辻原登評議員）。
10/1	「日本の童謡 白秋、八十一そしてまど・みちおと金子みすゞー」展（共催・朝日新聞社、神奈川新聞社）開催（～ 11/13）。前日に内覧会。
10/5	県議会で神奈川近代文学館の指定管理者に（財）神奈川文学振興会を選定。
10/10	日本の童謡展講演会（講師・三木卓常務理事）。
10/13	山本正人県民部長から安西篤子理事長に指定管理者の指定書を交付。
10/16	日本の童謡展記念「童謡のつどい」（お話・鈴木すず氏／フェリス女学院大学音楽学部大学院生）。
10/27	文字・活字文化の日（入館料無料、開館時間延長、閲覧室ミニ展示、バックヤード見学、プレゼント抽選）。
10/29	講演会「私の本について話そう」（講師・矢崎節夫氏）。
11/3	資料委員会開催。
11/22	安西理事長と山本県民部長が県庁で会談。
11/29	県監査委員による財団定期監査。
12/4	講演会「私の本について話そう」（講師・林望氏）。
12/28	常務理事懇談会(出席 4 名)、理事懇談会(出席 8 名)。

2006 年（平成 18）

文学館年表 101

1/9	「俳句 その魅力展」編集委員会（出席・鷹羽狩行評議員、村上護氏）。
1/21	「生誕 100 年 伊藤信吉展」（共催・土屋文明記念文学館）開催（～3/5）。
2/12	伊藤信吉展記念講演会（共催・横浜詩人会 講師・暮尾淳氏、千早耿一郎氏、朗読・龍沢友子氏）。
2/25	文芸朗読会（朗読・永井一郎氏）。
3/11	「新収蔵資料展 2005 年度」を常設展と同時開催（～4/16）。
3/25	第 58 回理事会（出席 13 名）。第 49 回評議員会（出席 18 名）。紀田順一郎常務理事を理事長に、安西理事長、三浦朱門理事を顧問に、荻野アンナ、川本三郎両理事を常務理事に、新井満、川西政明、藤沢周の各氏を理事に、小島健一、斎藤栄、篠原慎一郎、馬場洋一、復本一郎、松信裕の各氏を評議員に選任。収蔵文庫目録 15『藤田圭雄文庫目録〈特別資料〉』刊行。
4/1	紀田順一郎常務理事が理事長に就任。指定管理者制度による館運営開始（～2011/3）。観桜の会。
4/22	「生誕 110 年 吉屋信子展—女たちをめぐる物語」開催（～6/4）。前日に内覧会。
4/23	子ども読書活動推進フォーラム（講師・きむらゆういち氏）。
4/29	春の文化講演会（講師・永六輔氏 於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
4/30	吉屋信子展朗読会（朗読・五大路子氏、5/6 新井純氏、5/13 伊藤かずえ氏）。
5/1	石井茂評議員死去。
5/3	吉屋信子展講演会（講師・嶽本野ばら氏）。
5/20	第 59 回理事会（出席 14 名）。第 50 回評議員会（出席 19 名）。「神奈川近代文学館を支援（サポート）する会」総会。
5/25	米原万里評議員死去。
6/4	第 5 回「文学館友の会の集い」（講師・東原武文氏）。
6/10	「中野孝次展—今ここに生きる」開催（～7/30）。
7/1	中野孝次展講演会（講師・高橋一清氏）。
8/19	友の会文学講座（講師・鈴木健次評議員）。
9/18	講演会「私の本について話そう」（講師・夏目房之介氏）。
9/29	「俳句 その魅力展」内覧会（挨拶・紀田理事長、編集委員の鷹羽狩行評議員・村上護氏、荻原井泉水長男・荻原海一氏）。
9/30	「俳句 その魅力展」開催（～11/12）。
10/14	俳句展講演会（講師・長谷川權評議員、10/21 村上護氏）。
10/15	〈福田恆存資料〉受贈。以後継続して受贈。
10/17	木村尚三郎評議員死去。
10/20	投句大会選評会（〔一般の部〕講師・星野椿氏、10/22〔ジュニアの部〕講師・復本一郎評議員）。
10/27	文字・活字文化の日記念行事（対談・荒俣宏評議員、紀田理事長）。
10/28	子ども読書活動推進フォーラム（講師・かこさとし氏、於・はまぎんホールヴィアマール）。
11/4	資料委員会開催。
11/18	「露伴、茂吉、寅彦と小林勇展 一本の道 ある出版人の軌跡」開催（～2007/1/14）。
11/19	小林勇展記念講演会（講師・青木玉氏、小松美沙子氏）。
12/5	「埴谷雄高」展編集委員会（出席・秋山駿氏、川西政明理事）。
12/13	〈櫻井書店関係資料〉受贈。以後継続して受贈。
12/21	常務理事懇談会（出席・紀田理事長、岡松和夫、山田宗睦両常務理事、安西篤子顧問）。
12/24	文芸朗読会（朗読・篠田三郎氏）。

2007 年（平成 19）

1/1	嶋村ただし県会議員が評議員に就任。
2/25	文学散歩と湘南国際村講演会（講師・新井満理事）。

3/3	講演会「私の本について話そう」（講師・梁石日氏）。
3/10	「新収蔵資料展」を常設展と同時開催（～4/15）。
3/18	講演会「私の本について話そう」（講師・斎藤栄評議員）。
3/22	城山三郎理事死去。
3/24	第 60 回理事会（出席 12 名）。第 51 回評議員会（出席 22 名）。佐藤裕子、長谷川權、西木正明、蜂飼耳の 4 氏を評議員に選任。
3/25	収蔵文庫目録 16『滑川道夫文庫目録—1〈特別資料・雑誌〉』刊行。
3/28	観桜の会。
4/20	「中原中也と富永太郎展」内覧会（挨拶・紀田理事長、中村稔編集委員、樋口覚氏、遺族の富永一矢氏）。
4/21	「中原中也と富永太郎展—二つのいのちの火花」（共催・中原中也記念館）開催（～6/3）。子ども読書活動推進フォーラム（講師・なかえよしを氏）。
4/22	中原中也と富永太郎展朗読会（朗読・穂谷友子氏）。
4/28	中原中也と富永太郎展講演会（講師・窪島誠一郎氏、5/6 高橋睦郎氏）。
4/30	春の文化講演会（講師・浅田次郎氏 於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
5/16	中野孝次夫人・中野秀氏から 2,000 万円の寄付を受ける。
5/19	第 61 回理事会（出席 9 名）。第 52 回評議員会（出席 21 名）。「神奈川近代文学館を支援する会」総会。
5/24	大庭みな子理事死去。
6/1	第 53 回評議員会（出席 3 名）。〈磯田光一資料〉受贈。
6/2	第 6 回「文学館友の会の集い」（講師・富永一矢氏）。
6/9	「生誕 100 年記念 井上靖展」開催（～7/29）。
6/30	井上靖展朗読会（朗読・久米明氏）。
8/4	「佐藤さとる コロボックル物語展」開催（～9/30）。佐藤さとる コロボックル物語展講演会（講師・佐藤さとる評議員、聞き手・柴田祐規子氏）。
9/5	紀田順一郎理事長、国立台湾文学館を訪問（～9/8 展示課職員 1 名同行）。
9/12	「澁澤龍彦展」編集委員会（出席・高橋睦郎氏、紀田理事長）。
10/2	埴谷雄高、未発表「死霊構想メモ」記者発表（解説・鹿島徹氏）。
10/5	「埴谷雄高『死霊』展」内覧会（挨拶・紀田理事長、司修編集委員、寺田博氏、遺族の木村剛太郎氏）。
10/6	「無限大の宇宙—埴谷雄高『死霊』展」開催（～11/25）。
10/7	埴谷雄高展講演会（講師・島田雅彦理事）。
10/13	同展講座（講師・立石伯氏）。
10/20	同展朗読会（朗読・寺田農氏、音楽・奥澤竹彦氏）。
10/27	子ども読書活動推進フォーラム（講師・中川李枝子氏 於・はまぎんホールヴィアマール）。
10/28	文字・活字文化の日記念行事（対談・荒俣宏評議員、紀田理事長）。
11/4	資料委員会開催。
11/21	中国作家代表团（張賢亮団長以下 5 名）来館。
11/28	県監査委員による財団定期監査。
12/9	友の会講座（講師・小泉浩一郎理事）。
12/18	国立台湾文学館（鄭邦鎮館長以下 5 名）来館。
12/22	櫻田満評議員死去。

2008 年（平成 20）

1/6	「小林勇展」記録 DVD 上映会。
1/19	収蔵コレクション展 8『「食道楽」の人 村井弦斎』開催（～3/2）。
1/26	「食道楽」体験イベント。
2/1	「堀田善衛展」編集委員会（出席・紅野謙介評議員、鈴木敏夫氏、岸宣夫氏 於・スタジオジブリ）。
2/2	村井弦斎展講演会（講師・黒岩比佐子氏）。
2/10	湘南国際村講演会（講師・養老孟司氏）。

2/20	中野孝次元理事長の著作権を財団が受贈。これに伴い、広津基金の名称を「中野・広津基金」に改称。
3/8	「新収蔵資料展 2007 年度」（コーナー・山本七平と山本書店）を常設展と同時開催（～4/20）。講演会「私の本について話そう」（講師・半藤一利氏）。
3/22	第 62 回理事会（出席 11 名）。第 54 回評議員会（出席 23 名）。
3/25	収蔵文庫目録 17『滑川道夫文庫目録—2〈図書〉』刊行。
3/30	清水基吉評議員死去。
4/4	観桜の会。
4/10	寛楨二評議員死去。
4/19	春の文化講演会（講師・長谷川權評議員 於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
4/25	「生誕 80 年 澁澤龍彦回顧展こちよいサロン」内覧会（挨拶・紀田理事長、高橋睦郎編集委員、澁澤龍子氏）。
4/26	「澁澤龍彦回顧展」開催（～6/8）。
4/27	澁澤展講座（講師・三浦雅士氏、5/3 高橋睦郎氏、澁澤龍子氏、5/5 四谷シモン氏、5/10 平出隆氏）。
5/17	第 63 回理事会（出席 11 名）。第 55 回評議員会（出席 18 名）。
6/14	文学館交流展 1「台湾文学館の魅力—その多彩な世界」（共催・国立台湾文学館、文建会）開催（～8/3）。同展記念講座（対談・藤井省三氏、紀田理事長、6/15 張良澤氏、7/5 辻原登評議員、7/13 黄英哲氏）。同展セレモニー、神奈川近代文学館を支援する会総会・懇親会。
6/21	第 7 回「友の会の集い」（講師・秋山豊氏）。
7/12	「森嶋外展」編集委員会（出席・加賀乙彦氏、小泉浩一郎理事）。
8/2	台湾文学展漢唐音楽演奏会。
8/9	「かこさとし『だるまちゃんとしてんぐちゃん』展」開催（～9/28）。
8/24	かこさとし展講演会（講師・かこさとし氏）。
9/13	没後 100 年記念国木田独歩朗読会（朗読・久米明氏）。
9/14	小島直記評議員死去。
10/3	「堀田善衛展」内覧会（挨拶・紀田理事長、紅野謙介編集委員、宮崎吾郎氏、林京子理事）。
10/4	「堀田善衛展スタジオジブリが描く乱世。」（共催・スタジオジブリ）開催（～11/24）。
10/11	堀田展講演会（講師・宮崎駿氏）、11/15 朗読会（朗読・夏八木勲氏）、11/16 対談（対談・紅野謙介評議員、堀田百合子氏）。
10/12	第 1 回新公益法人検討委員会（出席 5 名）。
10/26	文字・活字文化の日記念行事（対談・紀田理事長、川本三郎常務理事）。
11/2	『飛ぶ読書室 この本がおもしろいよ』講演会（講師・紀田理事長 於・逗子開成中学・高等学校）。
11/22	「江戸川乱歩展」編集委員会（出席・藤井淑禎氏、紀田理事長）。
11/29	神奈川県図書館協会創立 80 周年記念「かながわの図書館 自慢のこの一点」展（主催・神奈川県図書館協会）開催（～2009/1/18）。
12/14	第 2 回新公益法人検討委員会（出席 7 名）。
12/20	文芸朗読会 源氏物語千年紀（朗読・有馬稲子氏）。
12/23	早乙女真理事死去。

2009 年（平成 21）

1/17	神奈川県図書館協会 80 周年記念展講演会（講師・出久根達郎氏）。
2/1	講演会「私の本について話そう」（講師・村岡恵理氏）。
2/7	文芸朗読会（朗読・久米明氏 於・鈴鹿かまぼこの里鈴の音ホール）。友の会文学講座（講師・林淑美評議員 2/8 も）。

3/6	「子規から虚子へ展」内覧会（挨拶・紀田理事長、稲畑汀子氏）。
3/7	文学館交流展 2「子規から虚子へ」展（共催・虚子記念文学館）と「新収蔵資料展」を常設展と同時開催（～4/19）。同展記念講演会（講師・稲畑汀子氏）。3/20 同展シンポジウム 1（講師・稲畑汀子氏ほか）。3/28 同展句会と講演会（講師・小沢昭一氏）。4/4 同展シンポジウム 2（講師・稲畑廣太郎氏ほか）、4/18 同展シンポジウム 3（講師・金子兜太氏ほか）。
3/21	第 64 回理事会（出席 12 名）。第 56 回評議員会（出席 20 名）。
4/1	観桜の会。
4/17	三笠宮、同妃両殿下が「子規から虚子へ展」見学に来館され稲畑汀子氏、紀田理事長が案内。
4/24	「森嶋外展」内覧会を開催（挨拶・紀田理事長、森憲二・美奈子夫妻、小泉浩一郎編集委員、竹盛天雄、山崎一頼両氏）。
4/25	「森嶋外展」開催（～6/7）。
4/29	嶋外展講座（講師・千葉後二評議員、5/17 小泉浩一郎理事、5/24 小川康子氏）。朗読会（5/4 佐藤慶氏）、講演会（5/9 加賀乙彦氏）。ミニコンサート（4/30・31 横浜商業高校吹奏楽部、野球部、於・港の見える丘公園沈床花壇付近）。
5/16	文化講演会（講師・平岩弓枝氏 於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
5/23	第 65 回理事会（出席 11 名）。第 57 回評議員会（出席 20 名）。
6/13	「生誕 100 年記念 中島敦展」開催（～8/2）。同展オープンにあわせ懇親会と文学館を支援する会総会を開催。（挨拶・紀田理事長、敦次男・格、敦の会長・田沼光明、文学館を支援する会会長・篠崎孝子の各氏）。
6/27	第 8 回「友の会の集い」、講演会（講師・日本新聞博物館学芸員・張宝芸氏）。
7/24	城山三郎展編集委員会（出席・澤地久枝氏）。
8/8	「茂田井武展」開催（～9/27）。
8/15	茂田井展講演会（講師・松居直氏）。
8/16	大岡昇平生誕 100 年記念朗読会（朗読・平田満氏）。
9/5	台湾文学連続講座（講師・津島佑子、陳玉慧、9/6 朱天心、9/19 劉亮雅、小谷真理、9/20 紀大偉の各氏）。庄野潤三顧問死去。
9/21	新公益法人制度に向けて最初の評議員の選定委員会を開催し、17 名の新制度移行後の評議員を選任（就任 16 名）。
9/27	「大乱歩展」内覧会（挨拶・紀田理事長、大橋英五立教大学総長、乱歩令孫・平井憲太郎氏、編集委員・藤井淑禎氏、清原康正理事）。
10/2	「大乱歩展」（共催・立教大学・江戸川乱歩記念大衆文化研究センター）開催（～11/15）。同展記念講演会（講師・小林信彦氏）朗読会（11/1 寺田農氏）。
10/3	文芸朗読会（朗読・有馬稲子氏 於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
10/24	文字・活字文化の日記念講演会（講師・紀田理事長）。
11/21	「長谷川時雨展」開催（～2010/1/11）。時雨展講座（12/5、12/12 尾形明子氏）。朗読会（12/13 平野啓子氏）。

2010 年（平成 22）

1/16	中野孝次義姉・松井芳子氏から故中野孝次・秀夫妻の遺志として 2,500 万円の寄付を受ける。
1/23	指定管理者外部評価委員会を開催。石崎等、菅野昭正、蔵本隆、袴田潤一、由里幸子の各委員が館内を視察の後、館運営の実績について審査。
2/12	県内の私立中高一貫校の国語科教員を対象に第 1 回〈文学館活用研修会〉を開催。（出席 26 人）。
2/28	「私の本について話そう」（講師・三木卓常務理事、3/14 太田治子評議員）。

3/2	神奈川県議会県民企業常任委員会の県議員12名が文学館の現地調査を実施。収蔵スペースなどを視察後、質疑応答。
3/6	収蔵コレクション展9「中村光夫文庫から 二葉亭四迷展」と「新収蔵資料展 2009 年度」を常設展と同時開催（～4/18）。「小泉八雲展」編集委員会（出席・辻原登評議員）。
3/20	第66回理事会（出席12名）。第58回評議員会（出席21名）。公益財団法人への移行、神奈川近代文学館第2期指定管理者の応募、神奈川近代文学館懇話会の設立などを承認。また理事、監事、評議員を改選、新組織最初の役員、評議員、理事長を選出。
4/1	澤茂樹総務課長が事務局長に就任。
4/3	二葉亭四迷展記念講座（講師・十川信介評議員）
4/4	城山三郎展記念朗読会（朗読・岸恵子氏 於・はまぎんホールヴィアマール 共催・はまぎん産業文化振興財団）。
4/9	〈宮田重雄資料〉受贈。以後継続して受贈。同日、井上ひさし理事死去。
4/23	「城山三郎展」内覧会（挨拶・紀田理事長、澤地久枝編集委員、長男・杉浦有一氏、鳥居邦朗理事）。
4/24	「城山三郎展」開催（～6/6）。
4/29	城山展トークイベント（トーク・井上紀子氏）、講演会（講師・5/1 澤地久枝氏、5/9 渡辺淳一氏、5/15 真山仁氏）。
4/30	松沢知事来館、城山展を観覧。
5/1	振興会の公益財団法人認可申請。
5/5	振興会に対する指定管理者外部評価委員会。
5/29	第67回理事会（出席9名）。第59回評議員会（出席20名）。同日、第1回神奈川近代文学館懇話会設立総会を開催、会長に三木卓、幹事長に山田宗睦両常務理事を選出。
6/2	服部信明茅ヶ崎市長来館、城山展を観覧。
6/11	「開高健の世界展」内覧会（挨拶・坂本忠雄記念会会長、小沢章友、鯉淵信一の各氏、清原康正理事、倉和男評議員）。
6/12	文学館交流展3「生誕80年 開高健の世界」展（共催・開高健記念会）開催（～8/1）。
6/18	〈山田幸男収集中川一文芸芸資料〉受贈。以後継続して受贈。
6/19	第9回「友の会の集い」、講座（講師・元朝日新聞社・永山義高氏）。
6/27	開高展記念講演会（講師・奥本大三郎氏、7/17 佐野眞一氏）。
7/7	黒川雅夫副知事来館、紀田理事長と懇談。
7/23	「遠藤周作展」編集委員会（出席・加藤宗哉氏、富岡幸一郎理事）。
8/2	振興会が、2011/4からの神奈川近代文学館第2期指定管理者に決定。
8/7	「長崎源之助展」開催（～9/26）。
8/12	当振興会に対する県の事務事業評価を実施。委員5人の総合評価で最高ランクを取得。
8/19	第2回〈文学館活用研修会〉を開催（出席6人）。
9/5	長崎展記念講座（講師・西本鶏介氏）。
9/8	「城山三郎資料」受贈。
9/23	「私の本について話そう」（講師・角野栄子氏）。
10/1	紅野敏郎理事死去。「小泉八雲展」内覧会。
10/2	「小泉八雲展」開催（～11/14）。
10/9	八雲展記念講座（講師・東雅夫氏、10/31 小泉凡氏）、朗読会（10/23 佐野史郎氏）、講演会（11/3 辻原登評議員）。
10/16	文芸朗読会（朗読・有馬稲子氏 於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
10/27	文字・活字文化の日記念行事を実施。
11/16	県監査委員による財団定期監査。
12/3	〈清岡卓行資料〉受贈。
12/8	中野孝次義姉・松井芳子氏から500万円の寄付を受

ける。	12/18	第2回神奈川近代文学館懇話会総会を開催。
2011年（平成23）	1/15	収蔵コレクション展10「中山義秀展」開催（～2/27）。
	1/26	「林芙美子展」編集委員会（出席・川本三郎常務理事、太田治子評議員）。
	1/29	「私の本について話そう」（講師・尾崎左永子理事）。
	2/5	中山義秀展文学セミナー（友の会文学講座、講師・清原康正理事、2/19 春名徹評議員）。
	2/13	〈竹山道雄資料〉受贈。
	3/5	「荻原井泉水と『層雲』100周年記念展」と「新収蔵資料展 2010 年度」を常設展と同時開催（～4/17）。
	3/22	振興会の公益認定に関する県の審議会。（31日付で認定）。
	3/26	第68回理事会（出席8名）。第60回評議員会（出席16名）。
	4/1	振興会が公益財団法人へ移行、第2期指定管理者期間スタート（～2016/3）。
	4/3	長崎源之助元評議員死去。
	4/9	「荻原井泉水と『層雲』100周年記念展」記念講座（講師・復本一郎評議員）。
	4/17	「遠藤周作展」記念朗読会&トーク（朗読・石坂浩二氏、トーク・加藤宗哉氏、石坂氏 於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
	4/22	「遠藤周作展」内覧会（挨拶・黒井千次氏、編集委員の富岡幸一郎理事・加藤宗哉氏、高橋千劍破氏）。
	4/23	「遠藤周作展」開催（～6/5）。
	4/29	遠藤展記念講演会（講師・加賀乙彦氏、5/29 妹尾河童氏）、5/5 シンポジウム（富岡幸一郎理事、兼子盾夫氏、笹木美佳氏）、5/14 講座（講師・森一弘司教）、5/22 講談&トーク（講談・神田蘭氏、トーク・高橋千劍破氏、神田氏）。
	5/15	黒岩祐治知事来館、遠藤展を観覧し、紀田理事長と懇談。
	6/11	「漱石と文人たちの書画展」開催（～7/31）。公益財団法人第1回理事会（出席9名）。
	6/18	第10回「友の会の集い」、朗読会（朗読・南谷朝子氏）。
	6/21	〈平尾榮美コレクション武井武雄資料〉受贈。
	6/26	第1回評議員会（出席15名）。
	6/28	内田四方蔵元評議員死去。陳崎嶽団長ら中国作家代表団4名来館、紀田理事長と懇談。
	7/2	「私の本について話そう」（講師・青木奈緒氏）。
	7/8	スタジオジブリ「コクリコ坂から」公開記念試写会&トーク（トーク・宮崎吾朗監督、川上量生氏）。
	7/22	「齋藤茂吉展」編集委員会（出席・尾崎左永子理事、三枝昂之評議員）。
	7/23	「漱石と文人たちの書画」展記念講演会（講師・夏目房之介氏）。
	8/6	「安野光雅展」開催（～9/25）。
	8/28	安野展記念対談（対談・池内紀氏、松田哲夫氏）、9/24 トークコンサート（トーク&演奏・森ミドリ氏、歌・アンサンブル・フィオレッティ）。
	9/2	近藤東夫人・近藤ふじ子氏から100万円の寄付を受ける。
	9/7	長島三芳元評議員死去。
	9/21	古山登元理事死去。
	9/30	「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」内覧会（挨拶・編集委員の太田治子評議員・川本三郎氏、鈴木靖新宿歴史博物館副館長、鳥居邦朗評議員）。
	10/1	「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」（共催・新宿区立新宿歴史博物館）開催（～11/13）。
	10/8	林展記念朗読会（朗読・紺野美沙子氏、トーク・北村文典氏、紺野氏、10/22 五大路子氏）、10/16 講演会（講師・太田治子評議員、11/5 川本三郎氏）。
	10/27	文字・活字文化の日記念行事を実施。

11/12	林文字横浜市長来館、林展を観覧。
11/19	「司修『本の魔法』コーナー」開催（～2012/1/9）。
11/30	〈上田保・静栄資料〉受贈。以後継続して受贈。
12/3	「私の本について話そう」（講師・司修評議員）。
12/23	第3回神奈川近代文学館懇話会総会を開催。
2012年（平成24）	
1/14	「作家と万年筆展」開催（～2/26）。
1/18	第3回〈文学館活用研修会〉を開催（出席27人）。
1/21	岡松和夫評議員死去。
1/29	かなぶん寄席・新春講談会（講談・神田蘭氏）。
2/8	「島崎藤村展」編集委員会（出席・堀江敏幸氏）。
2/19	作家と万年筆展記念講演会（講師・出久根達郎氏）。
3/3	収蔵コレクション展11「没後11年 中園英助展」と「新収蔵資料展 2011 年度」を常設展と同時開催（～4/22）。
3/4	〈黒岩比佐子収集資料〉受贈。
3/10	収蔵文庫目録18『那須辰造文庫目録』刊行。
3/18	中園展記念講座（講師・立石伯氏、3/31 新保博久氏）。
3/20	第2回理事会（出席9名）。2012年度事業計画及び予算案、2011年度補正予算案が承認。紀田理事が理事長を退任。辻原登副理事長を理事長（代表理事）に、長谷川權理事を副理事長に選任（4/1付で就任）。
4/7	観桜の会。
4/22	「齋藤茂吉展」記念朗読会（朗読・風間杜夫氏 於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
4/27	「齋藤茂吉展」内覧会（挨拶・辻原理事長、編集委員の尾崎左永子理事・三枝昂之評議員、齋藤茂一氏、齋藤喜美子氏、片野達郎・齋藤茂吉記念館館長）。
4/28	「茂吉再生一生誕130年 齋藤茂吉展」開催（～6/10）。
5/3	茂吉展記念講演会（講師・尾崎左永子理事、5/6 三枝昂之評議員、5/12 齋藤由香氏、5/20 岡井隆氏）。
5/10	第3回理事会（出席8名）。5/26第2回評議員会（出席13名）。2011年度の事業報告及び決算案が承認。
5/22	吉田秀和元評議員死去。
6/16	「中野重治の手紙―『愛しき者へ』展」開催（～8/5）。
6/23	D V D 上映会「偲ぶ・中野重治」（7/16も）。
7/10	富山県議会議員12人が視察。
7/14	第11回「友の会の集い」、講座（講師・林叔美評議員）。
7/27	寺村輝夫展プレイベント（於・ペーリックホール、～7/29）。
7/26	「井上ひさし展」編集委員会（出席・松山巖氏）。
8/3	福井県教育長が視察。
8/11	「寺村輝夫『ぼくは王さま』展」開催（～9/30）。同展記念スタンプラリースタート（当館・岩崎博物館・横浜人形の家～8/31、当館・鎌倉文学館・町田市民文学館ことばらんど～9/30）。
8/12	真夏の夕べの講談会（出演・神田蘭氏）。
8/18	寺村展記念講演会（講師・和歌山静子氏）、8/25おはなし会（出演・永井郁子氏）、9/8・9/22「王さまかるた大会」。
10/5	「島崎藤村展」内覧会（挨拶・辻原理事長、編集委員の堀江敏幸氏、島崎五美雄氏、大西晴樹明治学院学院長、神津忠彦氏、小泉浩一郎評議員）。
10/6	「生誕140年記念 島崎藤村展」開催（～11/18）。
10/20	藤村展記念朗読会（朗読・藤村志保氏）、10/27 講座（講師・十川信介氏、11/3 下山嬢子氏）、11/10 講演会（講師・堀江敏幸氏）。
10/26	文字・活字文化の日記念行事を実施。
11/7	県監査委員による財団定期監査。
11/23	「生誕100年 福田恆存資料展」と「新収蔵資料展 2012 年」を常設展と同時開催（～2013/2/24）。
12/1	友の会文学講座（構成、解説・庄司達也氏）。
12/20	「露伴・茂吉・寅彦と小林勇展」（当館協力、於・徳島県立文学書道館）開催（～2013/2/3）。
12/23	〈原満三寿収集金子光晴コレクション〉受贈。

12/24	近藤東元評議員の著作権を財団が受贈。
12/25	第4回神奈川近代文学館懇話会総会を開催。
12/26	県議会公明党議員団13人が視察。
2013年（平成25）	
1/26	芥川龍之介生誕120年記念レクチャーコンサート（出演・都一中氏）。
2/3	「泉鏡花展」編集委員会（出席・松村友視氏）。
3/2	収蔵コレクション展12「添田啞蟬坊・知道展」開催（～4/14）。
3/14	第4回〈文学館活用研修会〉を開催（出席9人）。
3/17	添田展記念トーク&ライブ（出演・なぎら健彦氏）。
3/20	第4回理事会（出席7名）。2013年度事業計画及び予算案、2012年度補正予算案が承認。
4/6	添田展記念「語りと弾き唄い」（出演・土取利行氏）。
4/13	「森ミドリ文学コンサート 作家 太田治子さんをお迎えして」（出演・森ミドリ氏 太田治子評議員 於・はまぎんホールヴィアマール、共催・はまぎん産業文化振興財団）。
4/19	「井上ひさし展」内覧会（挨拶・辻原理事長、松山巖編集委員、井上ユリ夫人、八木幹夫理事）。
4/20	「井上ひさし展」開催（～6/9）。
4/25	黒岩祐治知事来館、井上展を観覧し、辻原理事長、長谷川權、清原康正、竹口秀夫ら財団役員と懇談。
4/27	井上展記念対談（対談・井上ユリ氏、松山巖氏）、5/4・5 映画会、5/19 講演会（講師・小森陽一氏）、5/26 講演会（講師・扇田昭彦氏）、6/1 朗読会（出演・辻萬長氏）。
5/12	第5回理事会（出席8名）。5/29第3回評議員会（出席13名）。2012年度の事業報告及び決算案が承認、評議員会で理事を改選。
5/29	第6回理事会（書面決議）。辻原登理事長を再選。
6/15	文学館交流展4「『中原中也の手紙』展―安原喜弘へ」開催（～8/4）。
6/16	第12回「友の会の集い」、講座（対談・安原喜秀氏、中原豊氏）。
6/30	中也展記念講座（講師・庄司達也氏）、7/21 講演（講師・蜂飼耳評議員）。
7/13	第11回「ミュージアムクイズラリーよこはま」（～9/1）、「夏の文学館スタンプラリー」（～9/29）がスタート。
7/26	「太宰治展」編集委員会（出席・安藤宏氏）。
8/10	「賢治+司修 注文の多い展覧会」開催（～9/29）。
8/24	真夏の夕べの講談会（出演・神田蘭氏）。
8/27	日韓文化交流会議委員・鄭梨賢氏ら来館。辻原理事長と懇談。
9/7	長展記念講演会（講師・司修評議員）。9/21 ワークショップ（講師・司評議員）。
9/21	「桐蔭文学展 教科書に載った文豪 芥川龍之介」（共催・会場・学校法人桐蔭学園）開催（～10/19）。
10/4	「泉鏡花展」内覧会。
10/5	「生誕140年記念 泉鏡花展」開催（～11/24）。
10/13	鏡花展記念講座（講師・吉田昌志氏）、10/19 朗読会（出演・水谷八重子氏）、11/2 対談（対談・朝吹真理子氏、松村友視氏）11/9 講座（講師・市川祥子氏）。文字・活字文化の日記念行事を実施。
10/25	『丸谷才一全集』刊行記念講演会（挨拶・辻原理事長、講師・三浦雅士氏、対談・湯川豊氏、松家仁之氏）。
10/26	関東町村会会長ら20人が視察。
11/6	「新収蔵資料展 2013 年」と「大佛次郎没後40年記念特設コーナー」を常設展と同時開催（～2014/1/26）。
12/15	日韓文化交流会議、（公財）日韓文化交流基金と共催で日韓文化交流シリーズ「ことばの調べにのせて」開催（朗読・江國香織氏、鄭梨賢氏、鼎談・辻原理事長、江國氏、鄭氏）。
12/23	第5回神奈川近代文学館懇話会総会を開催。

2014年(平成26)

- 2/1 収蔵コレクション展13「生誕90年 黒岩重吾展」開催(～3/30)。
2/7 「須賀敦子展」編集委員会(出席・湯川豊氏)。
2/22 黒岩展記念講演会(講師・伊集院静氏)、3/9 講座(講師・清原康正専務理事)。
3/19 第7回通常理事会(出席5名)。2014年度事業計画及び予算案、2013年度補正予算案が承認。
3/25 収蔵文庫目録19『立原正秋文庫目録』刊行。
3/26 第5回〈文学館活用研修会〉を開催(出席16人)。